

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター一年報 27

—平成 30 年度—

2019 年 3 月

島根県教育委員会



普源田砦跡（浜田市）全景（北西から）



史跡出雲国府跡（松江市）調査区全景（南から）

目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
Ⅰ 平成30年度の調査体制	2
1. 組織	2
2. 職員一覧	2
Ⅱ 埋蔵文化財活用事業	3
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	3
2. 現地説明会	3
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
4. 心に残る文化財こども塾	4
5. 職場体験学習等の受け入れ	5
6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
7. 教員のための文化財活用講座	6
8. 見学等の案内	6
9. 職員の講師派遣	7
10. その他	8
11. 資料の貸出・調査等	8
Ⅲ 研究事業	14
Ⅳ 研修事業	15
1. 埋蔵文化財基礎研修	15
2. 埋蔵文化財専門研修	15
Ⅴ 会議・講習会等参加	16
Ⅵ 発掘調査事業	17
1. 一般国道9号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査	18
2. 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査	20
3. 一般国道9号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査	21
4. 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査	22
5. 一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査	24
6. 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う発掘調査	25
Ⅶ 学術調査	26
1. 史跡出雲国府跡	26
2. 考古資料基礎調査研究（墓制調査）	27
3. 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	27
4. 保存処理・理化学分析	28
5. 試掘確認調査・分布調査	33
Ⅷ 県内発掘調査一覧	34

IX 刊行物	37
1. ドキ土器まいぶん	37
2. 発掘調査報告書	37
3. パンフレット	39
4. 発掘調査だより	39
5. その他	39

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992（平成4）年に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4（1992）年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

TEL0852-36-8608 FAX0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

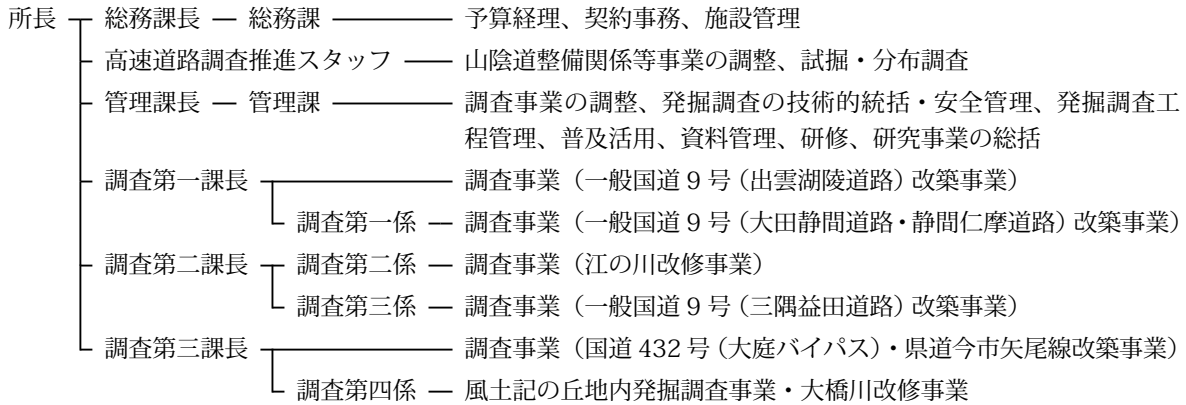
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ 学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼務写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡			
	鉄器処理室	35㎡			
	木器処理室	35㎡			
	水洗室	70㎡			
	その他	942㎡		小計	3,696㎡
	小計	2,519㎡		合計	7,835㎡

I 平成 30 年度の調査体制

1. 組織

島根県埋蔵文化財発掘調査センター



2. 職員一覧

職名	氏名
所長	椿 真 治
総務課	
課長	石 橋 聡
企画員	藤 原 由 美
嘱託	三 島 美 葉 子
	岩 成 真 代
	大 澤 康 佑
事務補助員	山 崎 洋 子
高速道路調査推進スタッフ	
調整幹	今 岡 操
企画幹	大 庭 俊 次
管理課	
課長	守 岡 正 司
企画員	神 柱 靖 彦
(兼) 企画員	澤 田 正 明
調査補助員	上 山 晶 子
調査第一課	
課長	深 田 浩
調査第一係長	中 川 寧
企画員	仁 木 聡
	伊 藤 智
嘱託	園 山 薫
調査補助員	坂 根 健 悦
	伊 東 豊
	片 寄 雪 美
	糸 賀 伸 文
	福 田 市 子
	阿 部 智 子
	角 森 玲 子

職名	氏名
調査第二課	
課長	角 田 徳 幸
調査第二係長	宮 本 正 保
主事	今 福 拓 哉
調査第三係長	東 森 晋
企画員	久 保 田 一 郎
嘱託	松 山 智 弘
	柳 浦 俊 一
調査補助員	世 良 啓
	幸 村 康 子
	川 崎 英 司
	無 川 美 和 子
	飯 塚 由 起
調査第三課	
課長	間 野 大 丞
調査第四係長	是 田 敦
主任主事	吉 松 優 希
文化財保護主任	廣 江 耕 史
嘱託	阿 部 賢 治
調査補助員	佐 野 木 信 義
	米 田 美 江 子
	岩 橋 康 子
	樋 野 千 晴
	内 田 律 雄
	大 田 晴 美

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

当センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

平成30年度は、大田市域の古墳時代の集落とマツリを考える講演会を、以下のとおり開催した。

平成30年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会

「明らかになった古墳時代の集落とマツリ—大田市内の最新の発掘成果を中心に—」

日 時：平成31年3月16日（土）14：00～16：30（13：30開場）

会 場：島根県立男女共同参画センターあすてらす研修室（大田市大田町）

参加者数：72名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター

共 催：大田市教育委員会

内 容：講演「大田市の古墳時代の集落とマツリ—鳥井南遺跡を中心に—」

中田健一（大田市教育委員会石見銀山課）

報告「弥生・古墳時代の集落—御堂谷遺跡の調査成果—」

仁木 聡（島根県教育庁埋蔵文化財調査センター）

報告「河川の祭祀跡—平ノ前遺跡の調査成果—」

伊藤 智（島根県教育庁埋蔵文化財調査センター）

2. 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会を行った。

遺 跡 名	開 催 日	場 所	参加者数	備 考
西百塚山19号墳	平成30年5月26日（土）	松江市大草町	49名	
蔵廻り遺跡	平成30年9月15日（土）	益田市西平原町	80名	
普源田砦跡	平成30年9月15日（土）	浜田市三隅町	80名	
出雲国府跡	平成30年10月21日（日）	松江市大草町	50名	国府まつり
中上Ⅱ遺跡	平成30年11月2日（金）	出雲市東神西町	33名	地元自治会向け
森原神田川遺跡	平成30年11月4日（日）	江津市松川町	30名	地元自治会向け
シコノ谷遺跡	平成30年11月18日（日）	松江市朝酌町	80名	
中上Ⅱ遺跡	平成30年11月18日（日）	出雲市東神西町	15名	地元自治会向け
出雲国府跡	平成30年11月23日（金）	松江市大草町	82名	
中上Ⅱ遺跡	平成30年12月13日（木）	出雲市東神西町	20名	地元自治会向け
京田遺跡	平成30年12月26日（水）	出雲市湖陵町	10名	地元自治会向け
普源田砦跡	平成31年1月19日（土）	浜田市三隅町	90名	
合 計			619名	

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催する講座。今年度は、親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部」を1回実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部連続講座」を3回行った。

【いにしえ倶楽部】

内 容	会 場	内 容	参加者数	実 施 日
第72回いにしえ倶楽部	埋蔵文化財調査センター 研修室	遺跡出土の青銅鏡解説・展示・ミ ニ金属鏡の鑄造研磨体験	85名	8月19日(日)
合 計			85名	

【いにしえ倶楽部連続講座】

実 施 日	演 題	講 師	参加者数
平成30年5月20日(日)	しまねの発掘最新情報	仁木 聡、久保田一郎、深田 浩	46名
平成30年9月9日(日)	銀で飾られた大刀と古墳時代のしまね	吉松優希	53名
平成31年2月24日(日)	きまちいし 中世・石塔・カタ・カタチ	間野大丞	70名
合 計			169名

4. 心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材とし、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	学 校 名	実 施 日	対象学年	人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	飯南町立赤名小学校	5月14日(月)	6	14	古代人の知恵に学ぶ	金属鏡作り
2	松江市立持田小学校	5月16日(水)	6	52	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
3	松江市立生馬小学校	5月18日(金)	6	15	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
4	益田市桂平小学校	5月22日(火)	5	22	奈良時代のお金と奈良の大仏	埴輪づくり・和同開珎作り
5	安来市立布部小学校	5月23日(水)	5・6	12	古代の安来について学びはにわ作り挑戦しよう	埴輪作り
6	松江市立古江小学校	5月24日(木)	6	12	地域の古墳を見学して、勾玉作りに挑戦	勾玉作り
7	出雲市立窪田小学校	5月25日(金)	5・6	24	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
8	出雲市立荒木小学校	5月28日(月)	6	69	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
9	大田市立久屋小学校	5月28日(月)	6	11	奈良時代のお金について学ぼう	和同開珎作り
10	出雲市立今市小学校	5月30日(水)	6	96	大仏パネルにチャレンジ	大仏パネル
11	隠岐の島町立五箇小学校	5月30日(水)	6	16	勾玉作り・古墳時代について	勾玉づくり
12	出雲市立乙立小学校	6月1日(金)	6	5	奈良時代のお金と奈良の大仏	和同開珎作り・大仏パネル
13	出雲市立湖陵小学校	6月1日(金)	6	53	古代人の作った土器を鑑賞して、勾玉作りに挑戦	勾玉づくり
14	雲南市立三刀屋小学校	6月4日(月)	6	53	大仏の大きさを見てみよう	大仏パネル

番号	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ・主題等	体験活動等
15	松江市立城北小学校	6月6日(水)	6	77	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
16	邑南町立瑞穂小学校	6月8日(金)	6	19	奈良時代のお金と奈良の大仏	和同開珎作り・大仏パネル
17	浜田市立波佐小学校	6月11日(月)	6	11	地域の文化財と奈良の大仏	大仏パネル
18	浜田市立雲雀丘小学校	6月12日(火)	6	13	奈良時代のお金と奈良の大仏	和同開珎作り・大仏パネル
19	雲南市立海潮小学校	6月13日(水)	6	11	地域の歴史、古代の玉作り	勾玉作り
20	益田市立鎌手小学校	6月14日(木)	6	14	発掘調査を見学して土器作りにチャレンジ	遺跡見学・土器作り
21	安来市立飯梨小学校	6月15日(金)	6	15	地域の古墳と古代の鏡	金属鏡作り
22	奥出雲町立三沢小学校	6月19日(火)	5・6	6	郷土の歴史・土器づくり	土器作り
23	松江市立意東小学校	6月19日(火)	6	26	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
24	松江市立佐太小学校	6月20日(水)	6	18	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
25	松江市立鹿島東小学校	7月2日(月)	6	11	「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い	大仏パネル
26	隠岐の島町立都万小学校	7月6日(金)	6	13	地域の歴史と古代の鏡	金属鏡作り
27	江津市立高角小学校	10月16日(火)	6	38	地域の歴史と奈良の大仏	大仏パネル
28	島根県立緑が丘養護学校	11月6日(火)	中2	2	古代の食事	古代食作り

合計 28 校 のべ参加児童生徒 728 人

5. 職場体験学習等の受け入れ

学校および希望者からの依頼を受け、インターンシップの学生を受け入れた。

実施日	学校等	実施内容
8月7日～9日	島根大学学生1名	研修・現場の見学・教員活用講座補助・整理作業・保存処理にかかる作業

6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。

【平成29年度1～3月】

番号	貸出セット名	申請者	使用目的	貸出期間
1	奈良時代食器セット	古代出雲歴史博物館	普及啓発	3月4日
2	弥生食卓セット	松江市立湖北中学校	体験学習	3月22日～3月23日

【平成30年度】

番号	貸出セット名	申請者	使用目的	貸出期間
1	縄文狩猟セットA・B 縄文土器セットB	松江市立古江小学校	社会科の授業で使用	4月17日～4月20日
2	弥生食卓セットA 弥生稲作セットA	八雲立つ風土記の丘	大庭小学校での授業に利用	5月14日～5月16日

7. 教員のための文化財活用講座

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を年1回開催している。

今年度は、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：平成30年8月8日（水）10：00～16：00

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者数：2名

内容：10:00～11:30 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明
 11:30～12:00 ワークショップ（大仏パネル）
 13:00～14:30 学芸員による展示解説
 14:40～16:00 ワークショップ（石こう銅鐸、低融点金属と同開珎づくり）

8. 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時開放し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。

発掘調査現場では、受入れ対応が可能な場合は見学案内を行っており、今年度は以下の発掘調査現場において見学案内等を行った。

(1) 埋文センター見学案内

月 日	見学者（団体）	時 間	人 数	見学案内	体験活動
5月22日	出雲市立四絡小学校	120分	84名	所内・公園	
8月7日	島根県立松江ろう学校	120分	5名	所内	勾玉づくり
9月18日	出雲市立浜山中学校1年生	50分	13名	所内	
10月4日	田和山サポートクラブ	30分	40名	所内	
11月13日	くにびき学園東部校社会文化科1年生	90分	30名	所内	
11月22日	出雲市立北浜小学校5・6年複式学級	100分	11名	所内	
12月25日	島根県立松江南高等学校新聞部	45分	5名	所内	
合 計			188名		

(2) 発掘調査現場見学案内

月 日	見学者（団体）	時 間	人 数	場 所
9月28日	くにびき学園東部校	30分	20名	出雲国府跡
10月31日	浜田市立岡見小学校	90分	14名	普源田砦跡
11月2日	江津市立高角小学校	60分	40名	森原神田川遺跡
11月20日	くにびき学園西部校	90分	9名	普源田砦跡
12月22日	風土記を訪ねる会	30分	6名	出雲国府跡
合 計			89名	

9. 職員の講師派遣（平成30年2月27日以降に申請があったもの）

各種団体等からの依頼を受け講演会や古代体験学習等への職員派遣を行った。

月日	内容	場所	派遣依頼者	講師
5月25日	石見銀山街道国史跡指定記念講演会	みさと館町民ホール(美郷町)	美郷町教育委員会教育長	椿 真治
5月31日	朝酌小学校校外学習	古曾志の丘古墳公園	朝酌小学校長	神柱靖彦
6月8日	益田市市内石造物の指導	益田市内	益田市教育委員会教育長	間野大丞
6月8日	墨書赤外線撮影の指導	松江城天守	松江市松江城調査研究室長	澤田正明
7月31日	ふるさと教育研修会	朝酌公民館	嵩の杜学園代表校長	椿 真治
5月10日	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会専門部会	タウンプラザしまね	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会長	内田律雄
8月1日	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会専門部会	松江市役所	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会長	内田律雄
8月5日	石西の文化を学ぶれんげ草の会の講演	益田公民館	石西の文化を学ぶれんげ草の会世話人代表	間野大丞
9月1日	山陰考古学研究集会	パレット江津	山陰考古学研究集会事務局長	守岡正司
10月21日	「日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム」	米子市公会堂	伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会会長	角田徳幸
10月27日	五十猛歴史散歩の講師	五十猛まちづくりセンター	五十猛歴史研究会事務局長	是田 敦
11月3・4日	出雲系神話の成立と変容	広島県	淑徳大学人文学部	仁木 聡
11月10日	勾玉づくり指導	古志原小学校	古志原小学校PTA	守岡正司 神柱靖彦
11月16日	鑄造技術者初級研修	ビックハート出雲	島根県銑鉄鑄物工業組合理事長	角田徳幸
11月17日	鳶巣の歴史を語ろう会講演会	鳶巣コミュニティーセンター	鳶巣の歴史を語ろう会会長	中川 寧
11月17日	山陰研究プロジェクトにかかるシンポジウムでの講演	倉吉交流プラザ	島根大学法文学部長	上山晶子
11月17日	荒神谷博物館講演会	荒神谷博物館	荒神谷博物館館長	角田徳幸
11月18日	和鋼博物館友の会公開講座	和鋼博物館	和鋼博物館友の会会長	椿 真治
12月8日	島根大学特別講座 in 広島	合人社ウエンディひと・まちプラザ北棟	島根大学理事	角田徳幸
12月16日	島根考古学会例会	島根県労働会館	島根考古学会会長	東森 晋
12月23日	風土記を訪ねる会講演会	島根県立八雲立つ風土記の丘	風土記を訪ねる会代表	吉松優希
1月19日	荒神谷博物館講演会	荒神谷博物館	荒神谷博物館館長	仁木 聡
1月29・30日	科学研究費基盤研究会合	奈良大学	奈良大学長	上山晶子
3月3日	島根大学古代出雲文化フォーラムⅦ	山陽新聞社さん太ホール	島根大学長	角田徳幸
3月5日	福島城跡出土陶磁器の指導	伯耆町役場溝口分庁舎	伯耆町教育委員会教育長	阿部賢治
3月11日	島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会合同専門部会	島根県市町村振興センター	島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会長	内田律雄
3月14日	横穴墓出土品の調査・検討	埋蔵文化財調査センター	出雲市長	吉松優希
3月16日	島根大学山陰研究プロジェクトに関する調査	東北大学考古学陳列館	島根大学法文学部長	吉松優希

10. その他

①サンレイクフェスティバル 2017 への参加

主 催：島根県立青少年の家ほか
期 日：平成 30 年 10 月 21 日（日）8：30～13：30
会 場：島根県立青少年の家「サン・レイク」
内 容：勾玉作り体験ブース（80 個）

②第 12 回国府まつりへの協力

主 催：島根県立八雲立つ風土記の丘
期 日：平成 30 年 10 月 21 日（日）10:00～14:00
会 場：史跡公園 出雲国府跡
内 容：発掘調査現場の見学会

③ぼくらの秘密の島探検 in 狐森島への参加

主 催：朝酌矢田にぎわいづくり実行委員会（国土交通省出雲河川事務所）
期 日：平成 30 年 8 月 26 日（日）
会 場：矢田渡船 朝酌渡船場周辺
内 容：出土品展示

④やだのまつりへの参加

主 催：朝酌矢田にぎわいづくり実行委員会（国土交通省出雲河川事務所）
期 日：平成 30 年 11 月 18 日（日）10:00～15:00
会 場：矢田渡船 朝酌渡船場周辺
内 容：火おこし体験ほか

11. 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査（平成 30 年 1 月 4 日～12 月 28 日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

【展示・研究に要したもの】

【平成 29 年度 1～3 月】

番号	資料名	点数	申請者	月 日
1	青木遺跡出土陶磁器ほか	89	埋蔵文化財調査センター職員	1 月 12 日
2	勝負遺跡出土玉ほか	49	古代文化センター職員	1 月 15 日～16 日
3	出雲国府跡出土木器ほか	183	埋蔵文化財調査センター職員	1 月 19 日
4	山持遺跡出土木器ほか	52	埋蔵文化財調査センター職員	1 月 19 日
5	久本奥窯跡出土須恵器	109	江津市教育委員会職員	1 月 19 日

番号	資料名	点数	申請者	月日
6	古八幡付近遺跡出土土器ほか	3	古代出雲歴史博物館職員	1月26日
7	坂灘遺跡出土石器	1	古代出雲歴史博物館職員	2月2日
8	西川津遺跡出土石器ほか	11	荒神谷博物館職員	2月7日
9	檀原遺跡出土縄文土器ほか	7	出雲弥生の森博物館職員	2月14日
10	大角山遺跡出土玉ほか	308	埋蔵文化財調査センター職員	2月12日～2月28日
11	山持遺跡出土土器ほか	6	埋蔵文化財調査センター職員	2月13日～2月28日
12	三田谷Ⅰ遺跡出土土器ほか	362	埋蔵文化財調査センター職員	2月19日～2月23日
13	島田池遺跡出土須恵器	52	古代文化センター職員	2月20日～2月26日
14	塚山古墳出土鏡ほか	9	島根大学准教授	2月22日～4月27日
15	古志本郷遺跡出土土器ほか	10	埋蔵文化財調査センター職員	2月22日～4月27日
16	出雲国府跡出土土器ほか	42	埋蔵文化財調査センター職員	2月24日
17	大角山遺跡出土玉ほか	308	埋蔵文化財調査センター職員	3月1日～4月20日
18	庵寺古墳群出土土器ほか	11	埋蔵文化財調査センター職員	3月5日～3月16日
19	灘遺跡出土木器ほか	90	八雲立つ風土記の丘学芸員	3月7日
20	山持遺跡出土土器ほか	58	埋蔵文化財調査センター職員	3月7日～4月27日
21	山代二子塚古墳出土埴輪ほか	74	古代出雲歴史博物館職員	3月29日

【平成30年度】

番号	資料名	点数	申請者	月日
1	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	43	埋蔵文化財調査センター職員	4月25日～5月11日
2	大原遺跡出土土器	2箱	埋蔵文化財調査センター職員	4月16日～5月31日
3	蔵小路西遺跡出土土器ほか	8	古代文化センター職員	4月24日～25日
4	奥山遺跡出土大刀ほか	16	埋蔵文化財調査センター職員	5月7日
5	タテチョウ遺跡出土木製品ほか	10	大阪府立弥生文化博物館学芸員	5月8日
6	垣ノ内遺跡出土弥生土器ほか	39	埋蔵文化財調査センター職員	5月10日
7	森遺跡出土縄文土器ほか	115	国学院大学栃木短期大学准教授	5月11日
8	林原遺跡出土縄文土器ほか	278	京都大学大学院生	5月11日
9	京田遺跡出土縄文土器ほか	1231	京都大学大学院生	5月14日～5月25日
10	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	257	奈良県立橿原考古学研究所職員	5月14日
11	古志本郷遺跡出土土器	1	埋蔵文化財調査センター職員	5月15日～5月25日
12	塚山古墳出土須恵器ほか	26	古代出雲歴史博物館職員	5月16日
13	六重城南1号墳出土鉄器	3	島根大学准教授	5月17日
14	西川津遺跡出土漆原木	1	三次漆生産組合職員	5月22日
15	市井深田遺跡出土土器ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	5月28日
16	意東窯跡出土陶磁器	1箱	埋蔵文化財調査センター職員	5月28日～6月1日
17	夫敷遺跡出土土器ほか	141	埋蔵文化財調査センター職員	5月28日～7月31日
18	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	289	古代文化センター職員	5月30日～6月1日
19	上屋敷銅鐸・下坂銅鐸図面	26	鳥取県埋蔵文化財センター職員	4月17日
20	平所遺跡出土玉類未成品ほか	230	九州大学総合研究博物館助教	6月5日
21	西川津遺跡出土木製品ほか	50	古代文化センター職員	6月11日
22	中野清水遺跡出土土製品ほか	3	荒神谷博物館職員	6月12日
23	出雲国府跡出土漆紙文書ほか	2	八雲立つ風土記の丘学芸員	6月21日
24	久本奥窯跡出土瓦ほか	73	浜田市教育委員会職員	6月22日

II 埋蔵文化財活用事業

番号	資料名	点数	申請者	月日
25	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	384	古代文化センター職員	6月25日～6月27日
26	中竹矢遺跡出土土瓦ほか	150	出雲弥生の森博物館職員	6月26日～6月27日
27	後河内古墓群出土土器ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	6月28日
28	出雲国分寺跡出土土瓦ほか	16	東広島市文化財管理センター職員	6月30日～7月1日 7月15日～7月16日
29	大東高校グラウンド遺跡出土土器	2箱	埋蔵文化財調査センター職員	7月9日～7月31日
30	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	735	出雲市文化財課職員	7月11日～12日
31	才ノ峠遺跡出土土瓦ほか	95	出雲弥生の森博物館職員	7月19日
32	上野1号墳出土埴輪ほか	259	島根大学准教授ほか	7月23日
33	原田遺跡出土縄文土器ほか	24	国立歴史民俗博物館職員	7月24日
34	陽徳寺跡出土土瓦ほか	10	島根大学学生	7月26日
35	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	268	古代文化センター職員	7月31日～8月2日
36	高浜1遺跡出土石製品	13	埋蔵文化財調査センター職員	8月6日
37	古屋敷遺跡出土縄文土器	10箱	出雲市文化財課職員	8月6日
38	布田遺跡出土土玉作関連遺物ほか	576	古代出雲歴史博物館職員	8月9日～8月10日
39	蔵小路西遺跡出土土製品ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	8月17日
40	上久々茂土居跡出土陶磁器ほか	312	国立歴史民俗博物館職員ほか	8月22日～8月25日
41	下がり松遺跡出土土瓦	4	立正大学大学院生	8月22日
42	茶白山城跡出土土器ほか	4箱	古代出雲歴史博物館職員	8月27日
43	社日古墳群出土土瓦	11箱	出雲弥生の森博物館職員	8月29日
44	杉谷遺跡出土土玉ほか	324	古代出雲歴史博物館職員	8月31日～9月20日
45	六重城南1号墳出土鉄器ほか	2	大阪歴史博物館職員	9月4日
46	出雲国府跡出土土器ほか	125	八雲立つ風土記の丘学芸員	9月4日
47	塚山古墳出土土玉ほか	493	古代出雲歴史博物館職員	9月6日～9月7日
48	奥山遺跡出土大刀ほか	10	埋蔵文化財調査センター職員	9月9日
49	大原遺跡出土土玉作遺物ほか	170	古代文化センター職員	9月11日
50	坊床廃寺出土土瓦	48	出雲市文化財課職員	9月19日
51	古屋敷遺跡出土縄文土器ほか	221	古代文化センター職員	9月19日～9月20日
52	山持遺跡出土土器ほか	130	東京大学大学院生	9月25日～9月27日
53	大津町北遺跡出土土器ほか	52	埋蔵文化財調査センター職員	9月25日～10月5日
54	西川津遺跡出土土器	250	古代文化センター職員	9月25日～10月5日
55	緑色凝灰岩・碧玉サンプル	2	古代文化センター職員	9月25日～27日
56	西川津遺跡出土石器	100	山口大学准教授	10月11日～10月12日
57	山持遺跡出土木製品	5	埋蔵文化財調査センター職員	10月2日～5日
58	中野清水遺跡出土土器ほか	164	荒神谷博物館職員	10月4日
59	中野美保遺跡出土土器	13	出雲弥生の森博物館職員	10月4日
60	白コクリ遺跡出土土器ほか	55	文化財課職員	10月9日
61	古八幡付近遺跡出土石器ほか	17	出雲弥生の森博物館職員	10月12日
62	古八幡付近遺跡出土土器ほか	10	埋蔵文化財調査センター職員	10月16日
63	荒神谷遺跡出土銅矛実測図	1	古代文化センター職員	10月17日～11月9日
64	富田川河床遺跡出土土製品ほか	8	山口市教育委員会職員	10月18日
65	上野II遺跡出土鉄製品ほか	15	埋蔵文化財調査センター職員	10月24日
66	出雲国府跡出土土瓦ほか	23	東広島市文化財管理センター職員	11月1日
67	京田遺跡出土縄文土器ほか	319	出雲市文化財課職員	11月2日

番号	資料名	点数	申請者	月日
68	山持遺跡出土土器	4	埋蔵文化財調査センター職員	11月17日
69	中野美保遺跡出土土器	3	荒神谷博物館職員	10月15日
70	タテチヨウ遺跡出土縄文土器ほか	562	出雲市文化財課職員	11月22日
71	山持遺跡出土弥生土器ほか	35	岡山県古代吉備文化財センター職員	11月27日
72	浜寄地方遺跡出土土器ほか	36	埋蔵文化財調査センター職員	11月26日～3月31日
73	柳遺跡出土石器ほか	21	埋蔵文化財調査センター職員	11月27日～12月28日
74	西川津遺跡出土土器ほか	1	三次漆生産組合職員	11月28日
75	古志本郷遺跡出土土器ほか	6	八雲立つ風土記の丘学芸員	11月30日
76	塩津山丘陵遺跡群出土石器ほか	4	文化財課職員	12月7日～12月21日
77	岩屋遺跡出土須恵器	11	出雲弥生の森博物館職員	12月12日
78	富田川河床遺跡出土石器ほか	54	埋蔵文化財調査センター職員	12月12日～1月31日
79	富田川河床遺跡出土陶磁器	49	大口町歴史民俗資料館職員	12月21日
80	野広遺跡出土石器	9	埋蔵文化財調査センター職員	12月26日～1月30日
81	古屋敷遺跡出土縄文土器	55	埋蔵文化財調査センター職員	1月15日～1月22日
82	西川津遺跡出土土器	3	九州国立博物館職員	1月24日

(2) 写真資料等（平成30年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【平成29年度1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	石屋古墳出土埴輪	1	松江市まちづくり文化財課課長	案内看板使用	1月9日
2	松本古墳群	1	個人	書籍掲載	1月15日
3	荒神谷遺跡出土青銅器	2	NPO法人ビードッグカフェ	ホームページ掲載	1月16日
4	三田谷Ⅰ遺跡埋没林検出状況ほか	6	出雲市	企画展示	1月29日
5	荒神谷遺跡 銅剣出土状況ほか	2	久木コミュニティセンター	書籍掲載	2月10日
6	青木遺跡出土絵馬	1	ひらたCATV株式会社	番組使用	2月19日
7	高広遺跡出土環頭大刀	1	和鋼博物館	パネル展示	3月2日

【平成30年度】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	3	株式会社同成社	書籍掲載	4月5日
2	西川津遺跡出土資料ほか	1	東村山ふるさと歴史館	パネル展示	4月17日
3	団原古墳子持壺出土状況ほか	2	古代出雲歴史博物館	パネル展示	4月26日
4	古八幡付近遺跡出土石製品ほか	3	個人	書籍掲載	5月7日
5	青木遺跡出土遺物	1	丸善出版	書籍掲載	5月8日
6	庵寺古墳群出土遺物ほか	4	埋蔵文化財調査センター職員	子ども塾使用	5月14日
7	荒神谷遺跡銅剣・銅鐸	1	株式会社エディキュープ	書籍掲載	5月14日
8	原田遺跡	1	株式会社洋泉社	書籍掲載	5月18日
9	青木遺跡木造男神坐像	1	滋賀県立安土城考古博物館	論文掲載	5月18日
10	西川津遺跡遺物ほか	39	大阪府立弥生文化博物館	特別展展示	5月24日
11	加茂岩倉遺跡出土銅鐸ほか	2	国立歴史民俗博物館	パネル展示	6月8日
12	スクモ塚古墳	1	文化財課長	チラシ掲載	6月13日

II 埋蔵文化財活用事業

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
13	出土した大量の水晶製未成品ほか	3	国立歴史民俗博物館	パネル展示	6月15日
14	宮内遺跡出土大刀	1	埋蔵文化財調査センター職員	論文掲載	6月26日
15	古八幡付近遺跡出土石製品ほか	2	荒神谷博物館	展示使用	6月26日
16	福富Ⅰ遺跡ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	報告書に掲載	7月2日
17	古志本郷遺跡出土大刀	1	個人	書籍掲載	7月2日
18	スクモ塚古墳	1	益田市教育委員会	広報使用	7月9日
19	西川津遺跡出土木材	1	古代文化センター職員	新聞掲載	7月9日
20	岩屋遺跡出土平玉ほか	8	古代歴史文化協議会	書籍掲載	7月16日
21	木製品保存処理作業工程ほか	7	八雲立つ風土記の丘	企画展示	7月17日
22	塩津山1号墳墳丘葺石	1	株式会社雄山閣	書籍掲載	7月17日
23	青木遺跡出土神像ほか	2	文化財課長	書籍掲載	8月2日
24	荒神谷遺跡調査状況	3	出雲ケーブルビジョン株式会社	番組使用	8月2日
25	浅柄Ⅲ遺跡ほか	4	神門コミュニティセンター	広報使用	8月9日
26	板屋Ⅲ遺跡出土羽口	1	新潟市文化財センター	企画展示	8月13日
27	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社帝国書院	書籍掲載	8月16日
28	荒神谷遺跡からみた仏経山ほか	5	協同組合島根県鐵工会	書籍掲載	8月20日
29	北原本郷遺跡出土赤彩縄文土器	1	個人	学会使用	8月22日
30	青木遺跡出土墨書土器	1	文化財課長	書籍掲載	8月23日
31	岩屋遺跡Ⅰ区5号墳1号石棺内の状況ほか	4	出雲市	展示使用	8月24日
32	山持遺跡Ⅳ区出土玉類集合	1	古代出雲歴史博物館	企画展示	8月24日
33	来美廃寺出土石製相輪、風鐸	2	株式会社東京堂出版	書籍掲載	8月24日
34	上野1号墓出土メノウ製勾玉	1	文化財課長	チラシ掲載	8月31日
35	鉄穴内遺跡出土鍛冶関係遺物	1	島根大学	チラシ掲載	9月4日
36	山持遺跡遺物出土状況など	15	埋蔵文化財調査センター職員	講演会使用	9月6日
37	富田川河床遺跡出土タイ製四耳壺	1	安来市教育委員会	パネル展示	9月6日
38	来美廃寺出土軒丸瓦	2	上澁白鳳の丘展示館	企画展示	9月7日
39	青木遺跡出土神像ほか	4	株式会社平凡社	書籍掲載	9月7日
40	平ノ前遺跡発掘調査状況ほか	2	古代文化センター職員	新聞掲載	9月19日
41	面白谷遺跡ほか	12	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月20日
42	布田遺跡出土遺物ほか	54	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月20日
43	北原本郷遺跡 SI06（焼失住居）ほか	2	古代文化センター職員	新聞掲載	10月9日
44	荒神谷遺跡ほか	2	個人	パネル展示	10月9日
45	山持遺跡出土弥生土器一括	1	文化財課長	広報使用	10月10日
46	古屋敷遺跡 SR01 遺物出土状況	1	古代文化センター職員	新聞掲載	10月10日
47	中野美保遺跡 1号墓ほか	9	荒神谷博物館	チラシ掲載	10月15日
48	鉄穴内遺跡出土鍛冶関係遺物	1	島根大学	新聞掲載	11月14日
49	堂床遺跡上空から北方を望む	1	古代文化センター職員	映像掲載	11月14日
50	中ノ原遺跡	1	埋蔵文化財調査センター職員	書籍掲載	11月15日
51	古志本郷遺跡 K 区の調査	1	埋蔵文化財調査センター職員	新聞掲載	11月15日
52	古志本郷遺跡 K 区の調査	1	出雲市	企画展示	11月19日
53	静間城跡出土つづて石ほか	3	鳥取県埋蔵文化財センター職員	イベント使用	11月21日
54	遺跡を覆う火砕流と火山灰ほか	3	株式会社雄山閣	書籍掲載	11月30日
55	原田遺跡	1	株式会社講談社	書籍掲載	11月30日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
56	中野清水遺跡出土遺物	2	荒神谷博物館	新聞掲載	12月5日
57	青木遺跡出土神像	1	文化財課長	書籍掲載	12月6日
58	九景川遺跡の位置と周辺の遺跡図	1	神西誌編集委員会	書籍掲載	12月11日
59	出雲国府出土分銅	2	出雲市	ギャラリー展	12月12日
60	西川津遺跡出土樹液採取痕跡のある木	1	NPO 法人国際縄文学協会	書籍掲載	12月12日
61	古八幡付近遺跡おもりほか	2	出雲市	書籍掲載	12月14日
62	荒神谷遺跡出土銅剣および銅剣出土状況	2	教育出版株式会社	書籍掲載	12月17日
63	加茂岩倉遺跡埋まったままの状態の銅鐸ほか	4	(株) NHK エンタープライズ	番組使用	12月20日
64	シコノ谷遺跡出土サメの歯および空撮ほか	2	株式会社グレイル	書籍掲載	12月25日
65	西川津遺跡出土炭化米	1	古代文化センター職員	新聞掲載	12月26日
66	中野清水遺跡出土遺物	36	荒神谷博物館	企画展示	12月28日

(3) 資料貸出（平成30年1月4日～12月28日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

【平成30年度】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	島田1号墳出土器台	1	八雲立つ風土記の丘	常設展	5月26日～3月31日
2	塚山古墳出土須恵器ほか	25	古代出雲歴史博物館	常設展	6月13日～10月17日
3	タテチョウ遺跡出土土製品ほか	15	大阪府立弥生文化博物館	特別展	6月25日～9月28日
4	中野清水遺跡出土土製品ほか	3	荒神谷博物館	特別展	6月29日～9月7日
5	島田池遺跡出土大刀ほか	7	八雲立つ風土記の丘	常設展	6月29日～10月31日
6	西川津遺跡出土木材	10	古代文化センター	分析	6月25日
7	出雲国府跡出土漆紙文書ほか	4	八雲立つ風土記の丘	企画展	7月9日～9月28日
8	山代二子塚古墳出土埴輪ほか	95	古代出雲歴史博物館	企画展	7月12日～10月31日
9	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	8月20日～3月31日
10	出雲国府跡出土土師器ほか	125	八雲立つ風土記の丘	企画展	9月26日～12月26日
11	上野1号墳出土土玉ほか	263	九州国立博物館ほか	巡回展	10月11日～3月14日
12	青木遺跡出土神像	1	古代出雲歴史博物館	企画展	10月26日～11月26日
13	中野清水遺跡出土土製品ほか	151	荒神谷博物館	企画展	11月9日～3月11日
14	中野清水遺跡出土おもりほか	6	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	11月14日～3月15日
15	古志本郷遺跡出土土器ほか	6	八雲立つ風土記の丘	企画展	12月18日～3月31日

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

【平成30年度】

番号	物品名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
1	巻尺ほか	古代文化センター	測量調査	4月13日～4月20日
2	火起こし体験セット(2) 勾玉づくり体験用具(8)	安来市立第三中学校	社会科古代体験学習	4月27日～5月9日
3	赤外線照射器	松江市史料編纂課	松江城天守墨書調査	6月7日～6月8日
4	メタルチェッカー	出雲市文化財課	鉄滓の調査	6月8日

Ⅲ 研究事業

番号	物品名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
5	スタッフほか	古代文化センター	発掘調査	7月20日～7月30日
6	ハンドマイク	古代文化センター	石見地域普及活用事業	9月15日～9月26日
7	三脚	文化財課	銀山関連資料の撮影	9月18日～9月25日

(5) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2018年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アクセス数	1,286	976	1,264	1,511	1,568	1,167	1,222	1,320	1,838	1,475	1,759	1,374	16,760

Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細事業	当センターの担当者
考古資料基礎調査研究事業：青銅器調査	①三木資料整理・公開	柳浦俊一、中川 寧
	②荒神谷・加茂岩倉青銅器調査	
	③埋納地調査	
考古資料基礎調査研究事業：墓制調査	①西百塚山古墳群 19号墳の調査	是田 敦、守岡正司、仁木 聡、 神柱靖彦、大庭俊次、吉松優希
	②大草丘陵古墳群の分布調査等	
考古資料基礎調査研究事業：生産遺跡調査	①県内鑄造関係遺跡・遺物の集成	角田徳幸
	②須恵器・埴輪産地分析	上山晶子
考古資料基礎調査研究事業：基礎資料収集調査	①西川津遺跡の出土品再整理	是田 敦、神柱靖彦、守岡正司
風土記調査研究事業：歴史景観復元調査	①歴史景観復元	間野大丞、是田 敦、吉松優希
	②古代地域社会研究	
テーマ研究	隠岐産黒曜石の獲得と利用の研究	柳浦俊一、神柱靖彦
	国家形成期の首長権と地域社会構造	仁木 聡
	中世石見における在地領主の動向	廣江耕史、守岡正司
	古墳時代の玉類の研究	柳浦俊一、深田 浩
	たたら製鉄の成立過程	角田徳幸、宮本正保
	前近代島根県域における環境と人間	東森 晋
	山陰弥生文化の形成過程	中川 寧、今福拓哉
	「日本書紀」と出雲に関する研究	仁木 聡
山陰における古代交通	間野大丞、久保田一郎、吉松優希	

岡山大学への研究協力

期 日：平成31年2月25(月)～28日(木)

会 場：埋蔵文化財調査センター研修室ほか

内 容：RISEプログラム協議

参加者：岡山大学、欧州研究者、古代文化センター職員ほか

人 数：55人

IV 研修事業

1. 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は募集に対して応募はなく、実施しなかった。

2. 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第1回】

日 時：平成30年9月18日（火）13：30～15：30

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者数：56名

テ ー マ：「庭園」の発掘調査について

講演「庭園史と発掘庭園」

小野健吉氏（国立大学法人和歌山大学観光学部観光学科）

【第2回】

日 時：平成31年1月16日（水）13：30～16：30

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者数：50名

テ ー マ：文化財専門職員の将来像について

埋蔵文化財の収蔵から活用まで

講演「都道府県が実施する埋蔵文化財研修の将来像について～島根県に期待すること～」

禰宜田佳男氏（文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門併文化資源活用課 主任文化財調査官）

解説「デジタルデータ・図面・遺物収蔵システムについて」

埋蔵文化財調査センター管理課職員

【第3回】

日 時：平成31年3月8日（金）13：30～16：00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者数：42名

テ ー マ：奈良文化財研究所文化財担当者専門研修報告

①報告「近現代建築保存活用課程」

山本大輔（建築住宅課主幹）

②報告「文化財写真課程」

今福拓哉（埋蔵文化財調査センター主事）

③報告「出土文字資料調査過程」

吉松優希（埋蔵文化財調査センター主任主事）

V 会議・講習会等参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会に参加した。

- ①総会 平成30年5月31日～6月1日 広島県広島市ホテルメルパルクひろしま
- ②中国・四国・九州ブロック会議 平成30年12月6日～7日 広島県東広島市市民文化センター 欠席
- ③研修会 平成30年10月18日～19日 愛知県名古屋市愛知県教育会館 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に1名が参加した。

第2回講習会 平成31年2月6日～7日 大阪府大阪市大阪歴史博物館

VI 発掘調査事業

受託事業

平成30年度は6事業8遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号改築事業（出雲湖陵道路、大田静間道路、静間仁摩道路、三隅益田道路）及び江の川河川改修、大橋川河川改修事業である。出雲湖陵道路予定地内では、出雲市東神西町の中上Ⅱ遺跡で弥生時代後期から古墳時代前期の建物跡を調査し、同市湖陵町の京田遺跡で縄文時代後期の遺構群を調査した。大田静間道路予定地内では、大田市鳥井町の桜田遺跡で凝灰岩に穿たれた土坑や溝状遺構を調査した。静間仁摩道路予定地内では、大田市静間町の垂水遺跡で奈良時代から平安時代前期の遺物や掘立柱建物を確認した。三隅益田道路予定地内では、益田市西平原町の蔵廻り遺跡と浜田市岡見町の普源田砦跡を調査した。前者で15～16世紀の河道跡や中世末以降の水田跡と関連する石垣を確認した。後者で15世紀後半から16世紀の山城跡を調査し、郭から建物跡や陶磁器等を確認した。

江の川改修予定地内では、江津市松川町の森原神田川遺跡で、旧河道内から古墳時代後期から古代の遺物を数多く確認した。大橋川改修予定地内では、松江市朝酌町のシコノ谷遺跡で、縄文時代早期から中世までの遺物を確認した。黒曜石や動物遺存体が多数確認でき、特にサメの歯を150点を超えて検出した。

学術調査

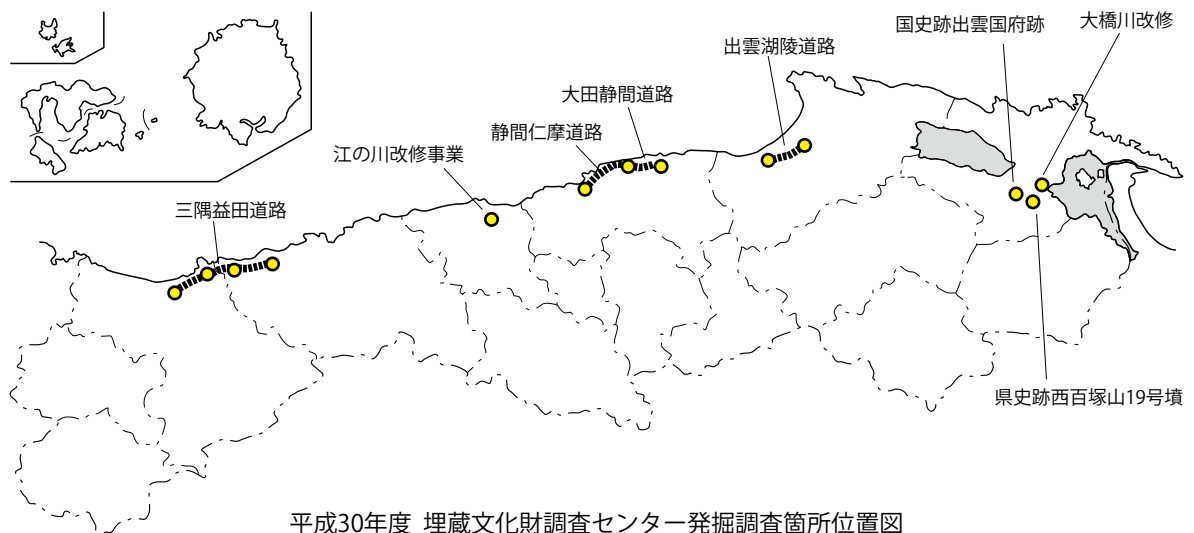
今年度の史跡出雲国府跡の発掘調査は国庁とその周辺の調査を行い、国庁の正殿の南東側に位置する脇殿の所在確認を行い、南北に主軸をもつ建物跡を発見した。また、墓制調査では今年度から松江市大草町の西百塚山19号墳の発掘調査を行い、規模や墳丘構築状況を確認し、埴輪が出土した。

分布調査

今年度は、松江北道路、一般国道9号（福光浅利道路）改築事業、江の川河川改修事業の予定地内の分布調査を実施した。

報告書作成

今年度は、出雲湖陵道路の常楽寺柿木田古墳群、湖陵多伎道路の久村鉦山跡、大田静間道路の静間城跡、御堂谷遺跡、平ノ前遺跡、静間仁摩道路の大国地頭所遺跡、垂水遺跡、松林寺遺跡、庵寺石塔群、江の川改修事業の田淵遺跡、県道矢尾今市線の高浜Ⅰ遺跡の調査報告書を刊行した。



1. 一般国道 9 号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は国土交通省松江国道工事事務所から委託を受けて実施しており、平成 26 年度より調査を実施して以来 5 年目となる。今年度は、中上Ⅱ遺跡、京田遺跡 2 区の調査を行った。

(1) 中上Ⅱ遺跡

本遺跡は出雲平野南西部の出雲市東神西町に所在し、神西湖に注ぐ九景川下流の右岸に開けた小規模な谷間の標高約 12 m の丘陵斜面～平坦部に立地する。現地調査期間は平成 30 年 7 月 24 日～平成 30 年 12 月 17 日、調査面積は 1,100㎡である。

遺構の概要 谷間に広がる長さ約 50 m ・幅約 30 m の平坦面を 1 区、谷間の南側丘陵斜面にみられる小規模な平坦部を 2 区として調査を行った。

1 区では幅約 7 m の川跡（SR02）と幅 1.5 m の水路跡（SR01）を検出した。川跡は近代以降に宅地造成によって埋め立てられており、本来は谷最奥部の滝から続く川の流路が直線状に伸びて九景川に注いでいたとみられる。川跡の北側には盛土で構築された平坦面が広がり、盛土の上層部で中世前半期の土師質土器が出土し、盛土上面で多数の柱穴状遺構を検出した。また、盛土層の下層からは、弥生時代後期～古墳時代前期、古墳時代後期の加工段状遺構を 5 か所（加工段 1～5）検出し、古墳時代後期の加工段 1 は掘立柱建物が建っていたと考えられる。この他、谷奥の川岸では古墳時代前期の土器が集中する地点を 2 か所検出した。南側丘陵斜面の 2 区では、中世以前とみられる柱穴状遺構や溝状遺構を検出した。

1 区では幅約 7 m の川跡（SR02）と幅 1.5 m の水路跡（SR01）を検出した。川跡は近代以降に宅地造成によって埋め立てられており、本来は谷最奥部の滝から続く川の流路が直線状に伸びて九景川に注いでいたとみられる。川跡の北側には盛土で構築された平坦面が広がり、盛土の上層部で中世前半期の土師質土器が出土し、盛土上面で多数の柱穴状遺構を検出した。また、盛土層の下層からは、弥生時代後期～古墳時代前期、古墳時代後期の加工段状遺構を 5 か所（加工段 1～5）検出し、古墳時代後期の加工段 1 は掘立柱建物が建っていたと考えられる。この他、谷奥の川岸では古墳時代前期の土器が集中する地点を 2 か所検出した。南側丘陵斜面の 2 区では、中世以前とみられる柱穴状遺構や溝状遺構を検出した。

まとめ 今回の調査では、1 区の川跡北側斜面で弥生時代後期～古墳時代後期の加工段を 5 か所と、谷奥側で古墳時代前期の土器集中地点を 2 か所で検出することができた。特に土器集中地点は川岸付近に位置しており、周辺の岩盤を段状に削平した痕跡もみられることから、水辺において何らかの祭祀が行われていたことも考えられる。また、この加工段群の上層には中世期に造成されたとみられる盛土層が厚く堆積しており、この時期に谷間を埋める大規模な開発が行われていたことが示唆される。

以上のように、この谷間では弥生時代後期以降に本格的な活動が始まった様子がかがえ、九景川下流域における当該期の集落の実態を知る上で貴重な調査例となった。また、中世期の造成跡とみられる盛土層は、遺跡の西方に立地する神西城跡との関連が注目され、築造時期など未だ不明な点の多い神西城跡の実態を検討する上で重要な成果といえる。（深田 浩）



中上Ⅱ遺跡位置図（1/25,000 神西湖）



中上Ⅱ遺跡遠景

(2) 京田遺跡 2 区

本遺跡は出雲市湖陵町に所在し、神西湖に注ぐ常楽寺川の左岸にあって、神西湖に向かって伸びる丘陵の裾部に立地する。平成 27 年に 1 区を、平成 28 年度に 3 区を調査し、本年度は標高 12～13 m の丘陵斜面と平坦面の境界部分について調査を実施した。現地調査期間は平成 30 年 9 月 19 日～12 月 27 日、調査面積は 150㎡である。

調査の概要 丘陵斜面から平坦面に下りた地点で、土坑 1 基、ピット 2 基、集石 1 か所と杭及び杭列が確認された。標高 13 m 付近では、古代から近世にかけての水田層と杭列が確認された。標高 12 m 付近は縄文時代後期の生活面と考えられ、検出した 1.6 × 1.1 m、深さ 20～30cm を測る楕円形の土坑 (SK01) には、遺構肩部に 20～40cm 大の礫が置かれていた。その一つは 40 × 60cm を測る大きさの円礫で標石の可能性があるので、SK01 は配石土坑と考えられる。その北側では、拳大から人頭大の礫がまとまった状態でみられる集石が確認された。

黒褐色粘質土の遺物包含層からは、主に凹線文土器を含む縄文時代後期後葉の土器が出土し、後期前葉の磨消縄文土器なども若干みられた。最下層からは出土例の稀な縄文時代中期末葉の土器が出土した。また、磨石や敲石、砥石や台石、石鏃や石斧（磨製・打製）などの石器が出土した。

まとめ 今回の調査では、既往の調査で把握できなかった丘陵裾部の斜面から平坦面に至る状況を確認することができた。標高 12 m 付近で検出された縄文時代後期の配石土坑をはじめとした遺構や出土した土器や石器からは、京田遺跡における当該期の様相がうかがい知ることができた。1 区、3 区、4 区（出雲市調査）の調査と合わせ、京田遺跡の性格や縄文集落の広がりを検討するうえで貴重な資料となった。

(園山 薫)



京田遺跡 2 区位置図 (1/25,000 神西湖)



SK01 検出状況



縄文時代後期遺構面 (南から)

2. 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省松江国道工事事務所から委託を受けて実施しており、平成27年度から実施して以来4年目となる。今年度は、平成29年度に続き桜田遺跡の調査を行った。

桜田遺跡

本遺跡は、大田市鳥井町鳥井に所在し、大田市北部の鳥井丘陵西側にあり、北に向かって開ける谷部に立地する。昨年度の調査で、それまでの試掘確認調査で把握されていなかった近世以降の石切場跡が、凝灰岩の岩盤に沿って60m以上検出された（1区）。昨年度中に、反対側の丘陵斜面にも石切の対象とされた同様の岩盤が存在することや、調査区外から流入した土器を確認したため、今年度になって、当該道路事業を所管する国土交通省と協議して国庫補助



桜田遺跡位置図

事業による試掘確認調査を実施したところ、凝灰岩の岩盤を切る溝跡を確認したことにより、必要な取り扱い協議を経て、この部分を桜田遺跡2区として本調査を実施することとなった。現地調査期間は、平成30年7月9日～7月20日、調査面積は172㎡、調査体制は調査員5名と調査補助員2名である。

遺構の概要 調査の結果、現地表下1mに、谷底に向かって緩やかに傾斜する凝灰岩の岩盤が広がり、岩盤面から深さ30cm、幅1.2m東西長さ3.5mにわたって掘り込まれた溝状遺構を検出した。掘り込みの壁面には、工具痕とみられる筋状の掘削痕も認められた。この溝状遺構は、方形の石材を切り出したと考えられるが、周囲に広がることなく、石切の試掘の可能性が考えられる。また、長さ1m程度の方形土坑を1基確認した。さらに、古道の一部を構成するとみられる幅30cm長さ10m以上にわたる溝状遺構も検出した。

まとめ 今年度の調査で検出した溝状遺構は、昨年度調査した西側丘陵斜面で確認された石切場と同質の石材を切り出すべく試みられた試掘坑の可能性はある。今年度調査対象地とした東側丘陵斜面では、昨年度検出した西側斜面のような岩盤全面に展開する大々的な石切は行われなかったことがわかった。溝状遺構を覆っていた堆積層から近世以降の陶磁器が出土していることから、石切はそれ以前と考えられるが、明確な時期は不明であった。大森代官所の支配が及んだ当地域の石材採掘場の様相を知ることができ、銀銅採掘技術や当地の墓石等に使用されている福光石の採掘技術との比較や、この地域の石材工業の歴史と文化を解明する貴重な資料といえる。 (大庭俊次)



桜田遺跡2区全景



桜田遺跡2区石切跡

3. 一般国道9号（静岡仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は、国土交通省から委託を受けて平成25年度から実施している。今年度は、垂水遺跡の調査を、調査員1名、調査補助員2名で実施した。

垂水遺跡

本遺跡は大田市静岡町野伏に所在する。遺跡は国道9号線の南の丘陵の斜面に位置する。遺跡の標高は58～65mである。平成28年度に発掘調査を実施しているが、その隣接地を平成29年度に試掘確認調査を行った結果、遺物が出土したことから、発掘調査を実施した。現地調査期間は平成30年5月31日～7月20日である。調査面積は合計330㎡である。

調査の概要 遺跡の土層は上から砂丘の層、黒色土層、明黄褐色土層に三大別できる。このうちの黒色土層は旧表土と考えられる。黒色土の上の砂丘の層は淘汰の良い中砂で構成されていた。黒色土と明黄褐色土は極粗粒砂～中粒砂で構成されており、砂丘の砂とは堆積環境が異なると考えられる。

遺構は掘立柱建物1棟を確認した。斜面で2間分の柱間を確認したが、下方は削平により確認できなかった。また、斜面上方で炭溜まりを確認した。

遺物はほとんどが土器であり、奈良時代後半から平安時代前半（8世紀後半～9世紀初頭）の須恵器や土師器である。そのほか、土製支脚や移動式竈があり、平成28年度調査区の様相と同じである。

まとめ 平成28年度調査区は谷部の下方を調査したが、今回の調査区は斜面を調査したことになる。出土遺物は須恵器や土師器、土製支脚や移動式竈といった、奈良時代や平安時代の一般的な遺跡から出土する遺物と同様であり、平成28年度調査区の結果を追認することになった。しだいに砂丘に覆われる場所に、当時の人々が活動していたことがうかがえる。

現地調査終了後、平成28年度から30年度まで発掘調査を行った垂水遺跡、松林寺遺跡、庵寺石塔群の報告書を作成した。

（中川 寧）



垂水遺跡位置図（1/25,000 大浦）



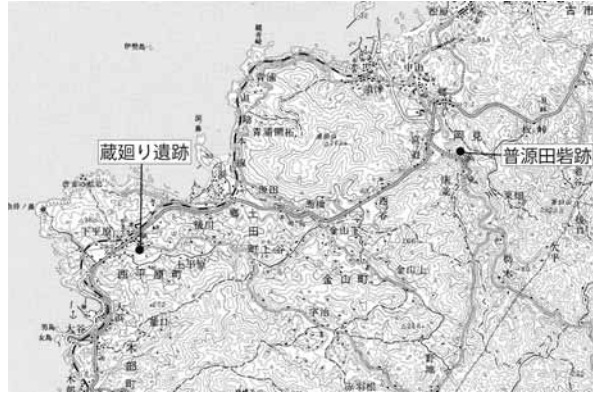
垂水遺跡・空撮写真

4. 一般国道 9 号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて実施しており、平成 27 年度より実施して以来 4 年目となる。今年度は、普源田砦跡及び平成 29 年度から継続する蔵廻り遺跡の調査を行った。

(1) 蔵廻り遺跡

蔵廻り遺跡は益田市西平原町に所在し、町内中央を流れる平原川沿いに開けた平野部（標高 32～34 m）に立地する。本年度は昨年度調査区（A、B、D 区）の北側に隣接する E、F 区について本調査を実施した。現地調査期間は平成 30 年 5 月 8 日～9 月 20 日、調査面積は 1,500㎡、調査体制は調査員 2 名と調査補助員 1 名である。



調査遺跡位置図

遺構の概要 昨年度調査では大規模な流路状遺構の南岸を確認しており、今年度調査では北岸の検出、幅の確定が課題であった。検出した流路状遺構は、川底の傾斜、形状から自然河道と考えられ、狭窄部分での幅 16 m を測る。流路は東から西へ流れ、調査区中央で大きく南に湾曲する。湾曲部の東側（F 区）では南岸の傾斜が緩く、西側（E 区）では北岸の傾斜が緩いのは、湾曲部を境に攻撃面が入れ替わった結果とみられる。川の底部から下層にかけては、砂礫、粘土層が堆積しており、出土した輸入陶磁器等の遺物から、河道埋没時期は 16 世紀から 17 世紀初頭とみられる。

河道埋没後の低湿地は江戸時代から明治時代にかけて、大規模な地形改変を経て水田化された。川岸の一部は切岸状の急傾斜となっている部分があり、根太や石垣が構築されていた。水田に伴う石垣と、石垣の沈下を防ぐための根太とみられる。これらの根太や石垣が設置されている箇所では川岸がほぼ垂直に削り落とされている。水田化の過程で、川岸の一部を削って平坦部分を拡げたものと思われる。出土する遺物は 17 世紀初頭から 19 世紀にわたる。

まとめ 平成 29 年度の調査と併せ、河道跡、水田に伴う石垣や根太、時期不明のピットや溝状遺構を確認した。河道の南方は微高地であり、河道の主に南岸から 15～16 世紀の輸入陶磁器が出土した。当該微高地に有力者が居住していたことを窺わせる結果となった。（久保田一郎）



E 区水田遺構



E・F 区河道跡

(2) 普源田砦跡

本遺跡は浜田市三隅町岡見に所在し、岡見川右岸（河口から約2km上流）の標高65mの丘陵上に立地する。現地調査期間は平成30年5月28日～平成31年1月29日、調査面積は6,900㎡、調査体制は調査員3名と調査補助員2名である。

遺構の概要 調査の結果、郭4か所、土塁1か所、堀切2か所、竪堀14か所、溝や小規模な段状遺構、水溜めなどが多数確認された。

城の中心となる郭1では、掘立柱建物跡7棟や、県内の山城跡では初めてとなる竪穴遺構を2基検出している。このうち郭の最高所に位置する建物1は、竪穴建物から櫓とみられる大型の柱穴を持つ建物に建て替えている。また、郭の中央と見晴らしの良い谷側にも計画的に建物が配置され、建物6の床面で炉跡1基が検出された。そのほか、郭の北東から南東にかけて、建物が埋没した後に発生した、地滑りの痕跡とみられる大きな段差を確認した。郭1の西側下方に位置する郭3では、掘立柱建物跡1棟、柵1列、柱穴約30基を検出した。郭1の北側下方に位置する郭4では、柱穴約30基を検出した。

堀切は、郭1と郭2の東側にそれぞれあり、堀切2は障子堀状の構造を持つ。深さが最大で約5mあり、複雑な段で構成されていることから、複数回の改修が行われたとみられる。

そのほか、郭1の北側斜面で石積み遺構を、郭2の南側斜面で近世以降の古墓5基を、郭4の東側で火葬墓1基を含む古墓4基を検出している。

遺物は15～19世紀の陶磁器・鉄製品が出土した。16世紀前半の中国製の陶磁器が大部分で、そのほかに朝鮮製の陶器、備前焼、瓦質土器、石臼、鉄滓なども出土している。また、茶壺、茶臼、風炉、硯が出土した点が注目される。

まとめ 県内で戦国時代の山城跡を全体的に発掘調査した例はほとんどなく、郭での生活や、防御施設の規模や配置など、小規模城郭の認識を改める発見となった。また、普源田砦跡のある浜田市三隅町岡見は、中世に現在の浜田市西部を支配した三隅氏と、益田市域を支配した益田氏が争った所で、中世の文献資料が少ない三隅地域の歴史を考える上で貴重な資料といえる。（東森 晋）



建物1



堀切2

5. 一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて平成29年度から実施している。今年度は森原神田川遺跡（2区）の調査を行った。調査期間は平成30年5月21日から11月16日、調査対象面積は3,000㎡、調査体制は調査員2名、嘱託職員1名、調査補助員1名で実施した。

森原神田川遺跡（2区）

調査の概要 本遺跡は江津市松川町八神に所在し、江の川下流の右岸に開けた平野部南西隅に位置する。現地表面から約1.5m掘り下げた深さで調査区東半を中心に粘土層を検出した。粘土層は江の川に向かって傾斜しており、現況の江の川に並行して傾斜変換点が認められることから江の川右岸の自然堤防であると判断した。自然堤防の斜面埋土には古墳時代後期から古代を中心とした遺物が含まれている。また、自然堤防埋没後に形成された流路跡を9条検出した。これらの流路跡埋土には16世紀から17世紀とみられる陶磁器が含まれている。



森原神田川遺跡（2区）位置図

遺構等の概要 江の川自然堤防斜面は標高0.5m～1.0m付近で傾斜が緩くなり、テラス面を形成している。このテラス面を中心にミニチュア土器や丸底壺の完形品が出土している。また、滑石製勾玉模造品が出土するなど、祭祀性の強い遺物が目立つ。流路跡は調査区内を東西に流れており、現況の江の川方向へ向かって流れる様子がうかがえる。流路跡は切り合いが認められるものの、出土遺物にそれほど時期差がないことから同時期に数条の流路が機能していたと考えられる。また、検出した流路跡には調査区内で小流路が合流する様子も判明している。合流前の小流路内には石積みによる堰が施されており、水量調整機能が認められる。

まとめ 調査では古代以前の江の川自然堤防と16世紀から17世紀を中心とする流路跡を検出した。流路跡は灌漑用水路を含んでおり、調査区東側の平野部で自然流路から分流し、農地へ導水した後の合流箇所を検出したと考えられる。当時の農村景観を把握する貴重な資料となった。自然堤防については古代の自然環境を把握する資料となるほか、祭祀性の強い遺物の出土から江の川下流域の自然堤防上で営まれる活動の実態を知る上での新たな知見となった。（今福拓哉）



遺跡遠景



検出した江の川自然堤防

6. 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受けて平成 24 年度から実施している。一時中断し今年度から大橋川北岸矢田地区の調査を開始し、初年度はシコノ谷遺跡の調査を行った。調査期間は平成 30 年 5 月 28 日～ 11 月 30 日、調査対象面積は 1,025㎡、調査体制は調査員 1 名、嘱託職員 1 名、調査補助員 2 名で実施した。

シコノ谷遺跡

調査の概要 本遺跡は松江市朝酌町矢田に所在し、大橋川下流の北岸にあり、河川幅員がこの周辺で最も狭くなる。遺跡は、現況が水田で、北側から伸びる谷が大橋川に接続する場所である。

調査区は、道路を挟んで A 区、B 区に分かれており、標高は 2 m、1.2 m である。A 区は、盛土の直下が黒灰色粘質土、灰色砂層、灰色礫層となっており、北側は礫層の下に平坦な地山面を検出している。礫層は南側に向けて傾斜しており、灰色砂を取り除くとやや大きめの人頭大の石が堆積していた。礫層は、傾斜 30°の斜面を形成し、この礫層中から縄文土器、石器が出土している。

B 区は谷の中央部に位置し、A 区と同様灰色砂層、灰色礫層が互層状に堆積している。上層の砂礫層からは古代の須恵器、木製品、中世の陶磁器が出土し、その下の砂層から弥生土器、古墳時代の須恵器が出土している。下層の礫層からは縄文時代早期から晩期にかけての土器、石器、黒曜石、獣骨、魚骨が出土している。下層の礫層を取り除くと基盤層（松江層）に溝状の落ち込みが見られ、川の流れにより削られたものと考えられる。礫層からは、縄文時代早期から晩期にかけての土器、石器がみられ、谷の上流から流されたものである。明確な遺構は検出できなかったが、遺物に獣骨とともに 150 本以上のサメの歯が大量に出土するなど、縄文時代の食料獲得の状況がうかがえる資料となった。

(廣江耕史)



シコノ谷遺跡位置図



遺跡遠景



出土遺物（サメの歯）

VII 学術調査

1. 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。平成 30 年度は六所脇地区（政庁域）の南東側約 375㎡を発掘調査した。現地調査は 7 月 4 日～12 月 27 日まで、調査員 1 名、補助員 1 名で実施した。

遺構の概要 平成 30 年度調査箇所は平成 27 年度 T59、T60 を含む調査区である。T59 で大型柱穴跡を検出しており、その柱穴跡に対応する柱



出雲国府跡位置図

穴列を南北で確認している。重複関係から掘立柱建物跡から掘立柱建物跡への建て替えが行われていることが分かる。建物跡は南北 9 間以上で、主軸は正方位を向き、ほぼ同じ位置で建て替えが行われている。調査区東側では対応する柱穴跡は検出できず、西側に展開するものと想定される。

また、調査区東側では、調査区内での深さ 60cm 以上の溝を検出した。溝は南北方向を向いているがやや東に振れる。溝の半分は調査区外に広がるものと考えられる。また、埋土は大きく 2 層に分かれ、上層は 11 世紀前半までの土器を多量に含む黒褐色土、下層は 9 世紀後半までの土器を多量に含む褐灰色土層が堆積し、2 時期にわたって埋め立てられたものと考えられる。

遺物の概要 須恵器、土師器、緑釉陶器、瓦などが出土した。遺構面までの埋土からは 9 世紀後半から 12 世紀の土師器が多く出土し、古代の遺構の基盤層からは 7 世紀代の土師器と須恵器が多く出土している。また、溝の埋土中からは多数の瓦などの遺物が出土した。

まとめ 今年度調査により、六所脇地区に新たな掘立柱建物跡の存在を確認することができた。これまで詳細に不明な点が多かった政庁域の建物配置や変遷の検討、今後の調査に向けての重要な発見となった。また、掘立柱建物跡の東側では南北方向の溝を検出することができ、政庁域の土地利用の状況や変遷を検討する上で貴重な成果を得ることができた。（吉松優希）



調査区全景（北から）



溝調査状況（北から）

2. 考古資料基礎調査研究（墓制調査）

西百塚山古墳群

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施した。西百塚山古墳群の分布調査・測量調査を実施したほか、古墳群中で最大の円墳である西百塚山 19 号墳の築造時期と墳丘構造、墳丘規模を確認するための発掘調査を実施した。発掘調査・測量調査は 5 月 10 日～6 月 14 日まで、古代文化センター職員 3 名、調査員 6 名、補助員 1 名で実施した。



西百塚山古墳群位置図

発掘調査・測量調査は 5 月 10 日～6 月 14 日まで、古代文化センター職員 3 名、調査員 6 名、補助員 1 名で実施した。

遺構の概要 今回の調査では西百塚山 19 号墳墳丘斜面に 2 か所のトレンチを設けた。発掘調査の結果、墳丘は長径約 47 m×短径約 45 m の円墳で二段築成、地山を削り出して墳頂部のみ盛土をする構造で、葺石はないことが確認された。後世の耕作等による改変が大きく加わっており、テラスも不明瞭である。

遺物の概要 墳丘斜面から墳頂部に樹立されていたと考えられる埴輪片が出土した。埴輪片には、円筒埴輪のほか、朝顔形埴輪、蓋形埴輪の破片が含まれていた。

まとめ 今回の調査により、墳丘築造方法、おおよその規模等が確認できた。また、出土した埴輪片には焼成時黒斑が認められないなどの特徴から、5 世紀前葉～中葉に築造された可能性があるが、断片的な資料であり、築造年代について確定はできない。（吉松優希）



西百塚山 19 号墳全景



墳頂部盛土堆積状況

3. 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

当事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施して、現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心に再整理を実施してその内容を明らかにするとともに、市民が容易に利用できるようデータベース化をはかることを目的として実施しており、今年度が 7 年目となる。

今年度は松江市西川津町に所在する朝酌川遺跡群のうち『西川津遺跡 I』（島根県教育委員会 1980 年調査）と『西川津遺跡 II』（島根県教育委員会 1982 年調査）の出土品について分類とデータ入力をおこなった。（是田 敦）

4. 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした撮影・分析も行なっている。

平成30年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表1・2のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。

また、調査現場からの要請を受け、脆弱な遺物に応急処置を施した。

理化学分析は表3のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。

(澤田正明・上山晶子)

(1) 保存処理業務実績

表1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道9号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書8(1996)				
岩屋口南	131図-1	舟形木製品	アクリル樹脂塗布	処理済
岩屋口南	131図-2	田下駄	アクリル樹脂塗布	処理済
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書IV(海崎地区2)(1988)				
西川津	125図-77	狭楾	トレハロース含浸	処理中
西川津	153図-229	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	153図-231	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	153図-233	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	157図-249	狭楾	トレハロース含浸	処理中
西川津	158図-256	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	164図-284	広楾	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書V(海崎地区3)(1989)				
西川津	78図-40	広楾	トレハロース含浸	処理中
西川津	81図-52	広楾	トレハロース含浸	処理中
西川津	90図-106	匙状容器	トレハロース含浸	処理中
西川津	90図-107	匙状容器	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書III(1990)				
タテチョウ	204図-W339	方形曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W434	桜皮	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W435	桜皮	トレハロース含浸	処理中
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書IV(1992)				
タテチョウ	94図-W39	アカトリ状製品	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10(2012)				
山持	50図-1	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	50図-2	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	50図-3	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	50図-4	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	50図-5	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	50図-6	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	55図-1	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	55図-2	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	55図-3	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	55図-4	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	55図-5	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-1	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-2	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-3	柱	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-4	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-5	礎盤	トレハロース含浸	処理済
山持	59図-6	礎盤	トレハロース含浸	処理済
一般県道矢尾今市線地方道路交付金事業(大塚工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3(2016)				
高浜I(2区)	16図-3	柱	トレハロース含浸	処理済

表2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書16(2009)						
鉄穴内	123図-M7	鍍未成品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M30	鉄鉋	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M31	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M87	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M95	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M98	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M271	鉄鉋	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M274	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M275	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M278	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M279	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M287	環状品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M289	刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M291	板状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M294	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M299	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M300	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M302	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M307	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	210図-M373	不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	243図-M416	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	(仮)非-1	鉄塊	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理

(2) 理化学分析

X線撮影と赤外線撮影は古代出雲歴史博物館において連携して行なった。

表3 蛍光X線分析 ※平成30年1月4日～平成31年2月28日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	内容	点数	備考
1月5日	島根県埋蔵文化財調査センター	田淵遺跡出土遺物に付着した赤色顔料の同定・海石西遺跡出土金属製品の材質同定・大國地頭所遺跡出土金属製品の材質同定	5	
2月5日～7月11日	出雲市	京田遺跡出土遺物付着赤色顔料の同定	16	
5月10日	島根大学法文学部山陰研究センター	伯耆国分寺古墳出土赤色顔料の同定	1	
6月5日～18日	島根県古代文化センター	益田市小丸山古墳出土金属製品付着赤色顔料の同定	4	
平成31年2月5日	島根県埋蔵文化財調査センター	富田川河床遺跡より出土した埴埴付着物質の同定	7	

附論 富田川河床遺跡出土金属生産関連遺物の蛍光X線分析結果(概報)

平成30年度内に実施された資料調査によって指摘された事項を確認するために、富田川河床遺跡から出土した金属生産関連遺物の蛍光X線分析(非破壊)を行なった。

これらの遺物は島根県教育委員会より1984年に刊行された『富田川 - 飯梨川河川改修に伴う富田川河床遺跡発掘調査報告(4)』の29図(pp. 48)に掲載された「埴埴」5点と「蓋」2点である。

蛍光X線分析は、肉眼観察・実体顕微鏡観察(20倍)にて、何らかの物質が付着しているとみられる箇所(内面)を測定した。使用機器は島根県古代文化センター所有、島根県埋蔵文化財調査センター設置の「エスアイアイ・ナノテクノロジー(現;日立ハイテクサイエンス)社製SEA1200VX卓上型ケイ光X線分析計(エネルギー分散型)」である。測定条件は、管電圧50kV、管電流は管電圧の設定による自動設定、試料室雰囲気は大気、X線管球はRh(ロジウム)、検出器はSi半導体検出器、一次フィルタとしてPb、Cdを設定した。なお、装置の仕様上、Chemplex社製マイラーカバーを使用している。

Ⅶ 学術調査

分析結果は以下の表と蛍光X線スペクトルデータのとおりである。29図 - 30と31の「蓋」については、Cu(銅)とZn(亜鉛)のスペクトルピーク(以下、ピーク)を高く検出した。真鍮(黄銅)の生産に関わる遺物とみられる。また、29図 - 29の「埴塼」についてもCuの高いピークとZnのピークを検出しており、真鍮(黄銅)の生産に関わる遺物である可能性が高い。

参考文献

杳名貴彦 2018「豊後府内における非鉄金属生産」『戦国大名大友氏の館と権力』吉川弘文館
 西山要一・東野治之 2015「東アジアの真鍮と紺紙金銀字古写経の科学分析」『文化財学報第33集』奈良大学文学部文化財学科
 比佐陽一郎・松園菜穂 2018「博多における中世後期の非鉄金属生産」『博多・山口・大分三都市研究集会報告資料集』博多研究会

付記 本稿をなすに当たっては、山口市教育委員会北島大輔氏のご指導を賜りました。

表 富田川河床遺跡出土金属生産関連遺物 蛍光X線分析試料と結果

挿図番号	器種	検出したスペクトルピーク								出土地点(注記)				想定される時期
		Cu	Zn	Pb	Fe	Ag	Sn	Sb	Ba					
29図-25	埴塼		-	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	第3遺構流砂	821027	1635~1666
29図-26	埴塼			■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	SA11下層	821204	1600~1635
29図-27	埴塼	■	-	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	SB12下層	821202	1600~1635
29図-28	埴塼		-	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	第3遺構流砂	821027	1635~1666
29図-29	埴塼	■	■	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	SX05	820807	1635~1666
29図-30	蓋	■	■	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	SB12下層	821202	1600~1635
29図-31	蓋	■	■	■	■		-	-		9NTD	Ⅱ区	南最下層	821216	1600~1635

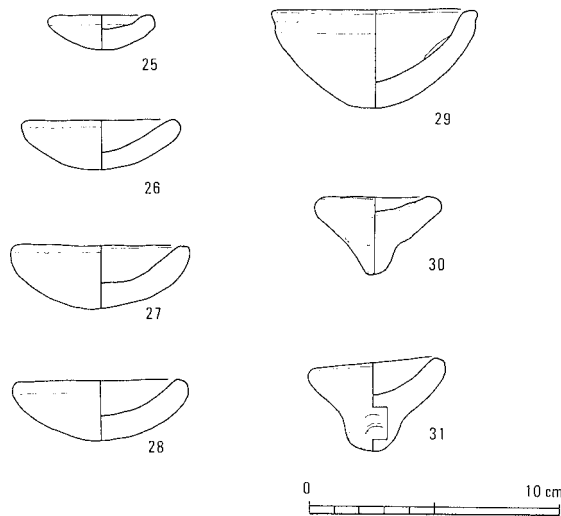
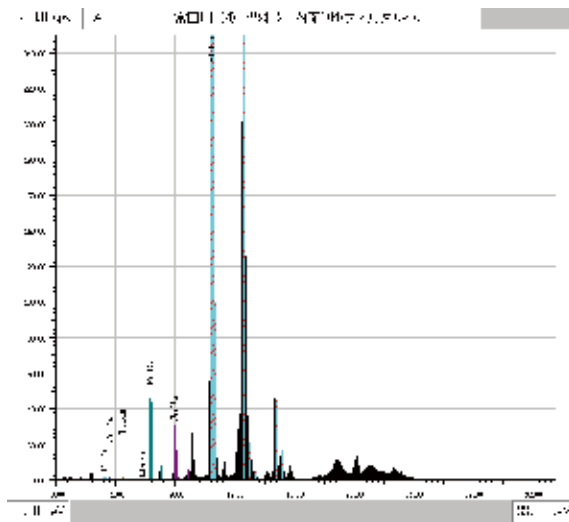
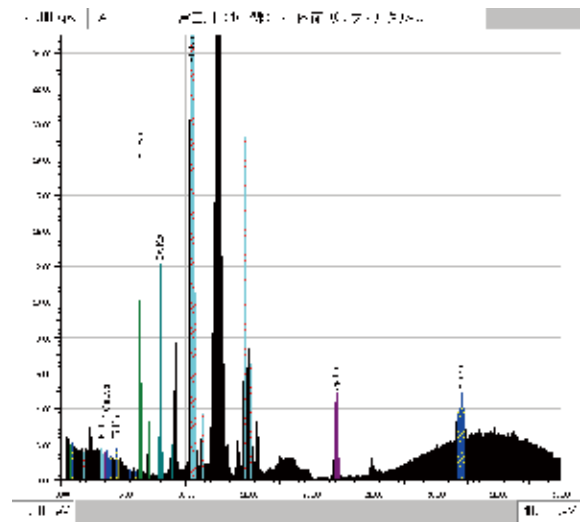


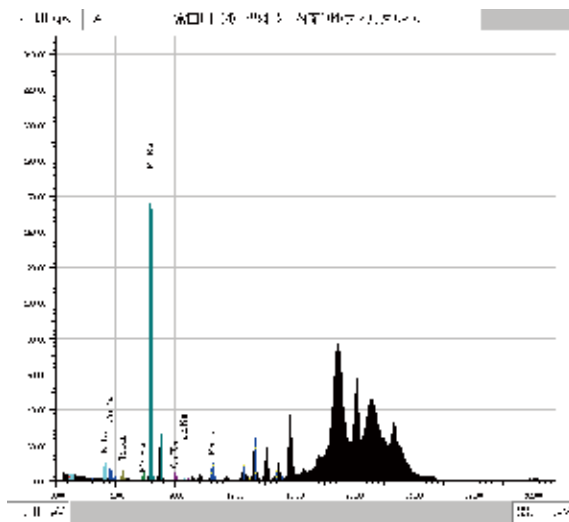
図 富田川河床遺跡出土金属生産関連遺物 蛍光X線分析試料



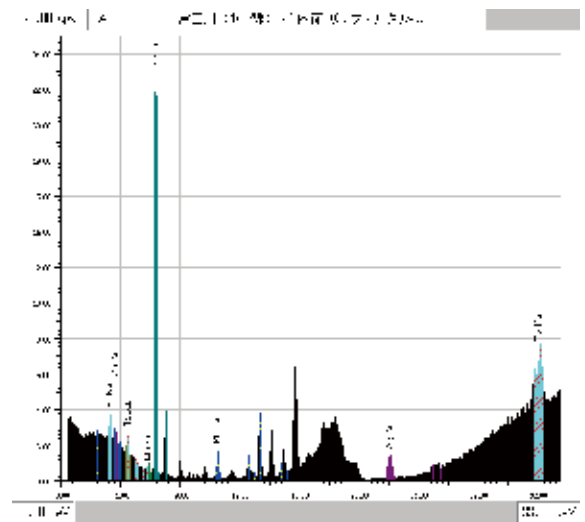
29 図-25 (Pb フィルタ)



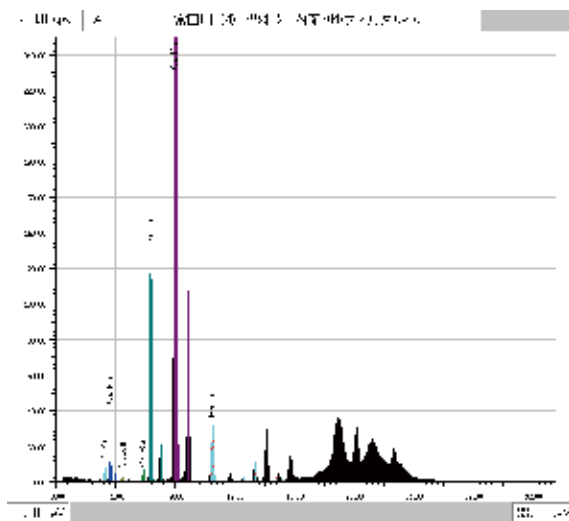
29 図-25 (Cd フィルタ)



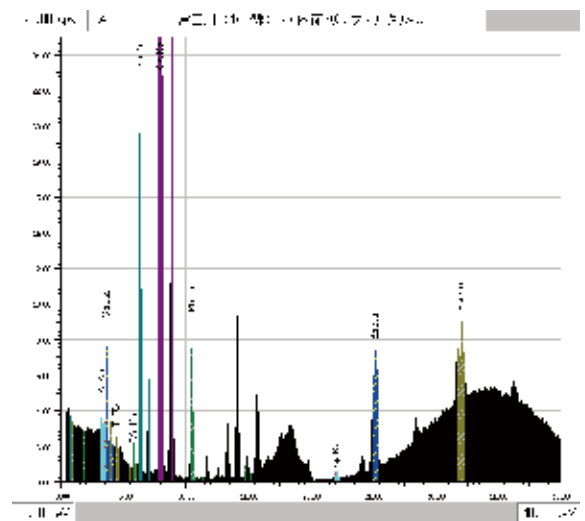
29 図-26 (Pb フィルタ)



29 図-26 (Cd フィルタ)



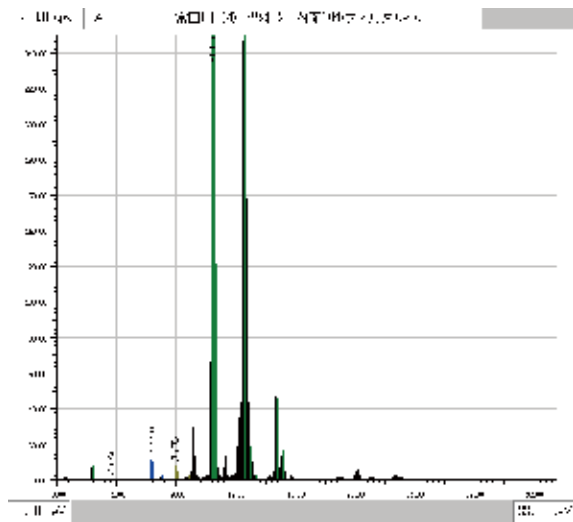
29 図-27 (Pb フィルタ)



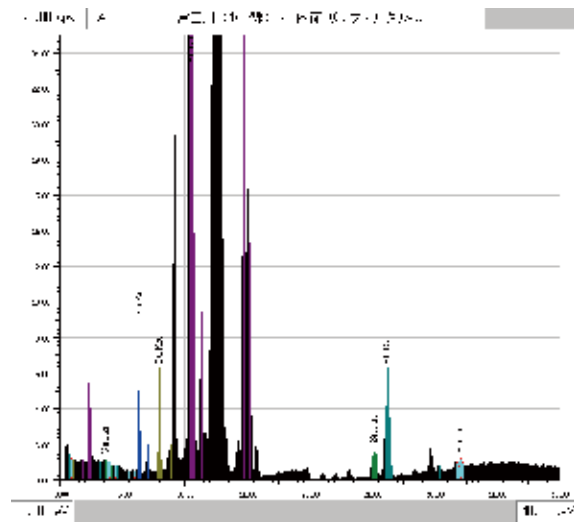
29 図-27 (Cd フィルタ)

蛍光 X 線分析スペクトルデータ (1)

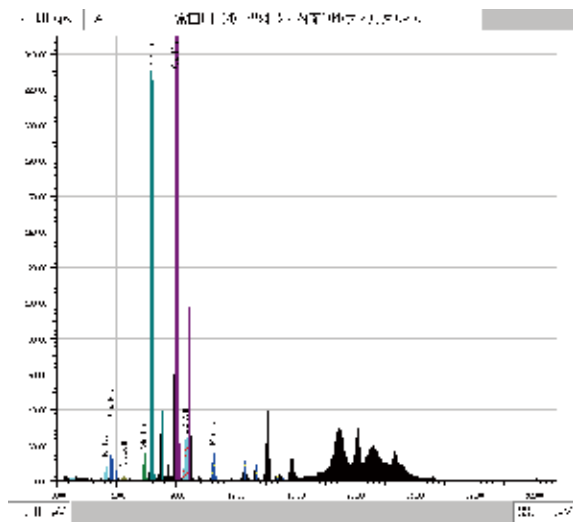
VII 学術調査



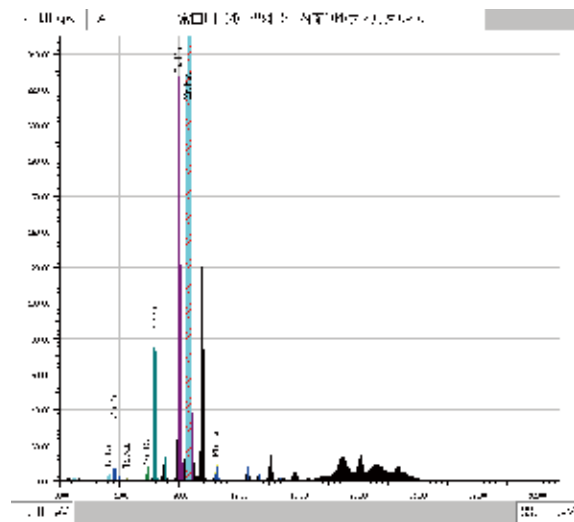
29 図-28 (Pb フィルタ)



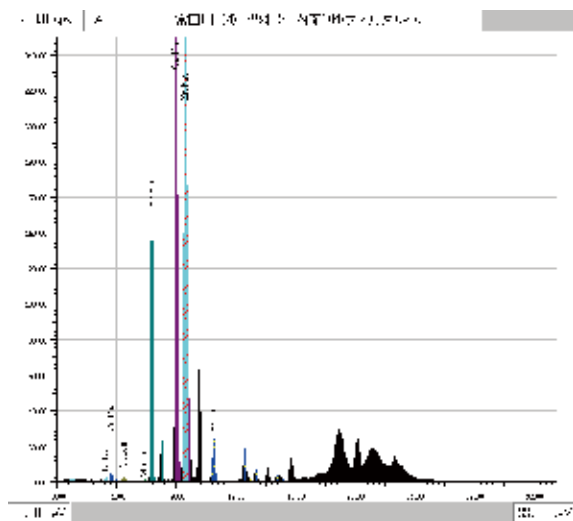
29 図-28 (Cd フィルタ)



29 図-29 (Pb フィルタ)



29 図-30 (Pb フィルタ)



29 図-31 (Pb フィルタ)

蛍光 X 線分析スペクトルデータ (2)

5. 試掘確認調査・分布調査

国庫補助事業として以下のとおり実施した。

(1) 平成 30 年度 試掘確認調査実績

事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地	調査期間	調査対象 面積(m ²)	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積)	調査員
一般国道 9 号(出雲湖陵道路) 改築事業予定地	御領田遺跡	出雲市湖陵町 常楽寺 181-6	10月22日 ～ 10月23日	320	トレンチ 2 か所 (24m ²)	遺構・遺物なし	否	深田 園山
一般国道 9 号(大田静間道路) 改築事業予定地	桜田遺跡	大田市鳥井町 字 桜田 1771 外	6月20日 ～ 6月25日	900	トレンチ 5 か所 (30m ²)	土坑	要 (300m ²)	大庭 深田 園山
一般国道 9 号(三隅益田道路) 改築事業予定地	要注意箇所	益田市三隅町 三 隅 1989-5 外	8月28日 ～ 8月30日	600	トレンチ 3 か所 (約 12m ²)	遺構・遺物なし	否	角田
大橋川改修事業予定地	要注意箇所	松江市朝酌町 1010 外	8月20日 ～ 8月30日	6,000	トレンチ 10 か所 (126m ²)	土師器・須恵器	要 (4,300m ²)	間野 廣江 阿部
	要注意箇所	松江市朝酌町 1005-1 外	11月5日 ～ 11月9日	3,600	トレンチ 5 か所 (54m ²)	遺構なし 須恵器・磁器	否	廣江 阿部
一級河川江の川直轄河川改修事業予定地	森原上ノ原遺跡	江津市松川町 八神 248 外	11月15日 ～ 11月21日	3,200	トレンチ 9 か所 (56m ²)	縄文土器・弥生 土器・土師器・ 須恵器・土製品	要 (3,200m ²)	宮本 今福 柳浦
国道 432 号大庭バイパス改築事業予定地	要注意箇所	松江市大庭町 58-8 外	5月17日 ～ 5月24日	3,000	トレンチ 2 か所 (10m ²)	土師器・須恵器	要 (1,300m ²)	間野
中国電力送電線工事及び東島根変電所建設予定地	要注意箇所	飯石郡飯南町 下来島 3235、 1593-1 外	11月15日 ～ 11月26日	6,900	トレンチ 11 か所 (88m ²)	縄文土器・土師 器・須恵器・土 製品	要 (4,900m ²)	伊藤
中国電力送電線建替工事予定地	要注意箇所	松江市宍道町 白石 1695-1 外	12月10日 ～ 12月21日	1,260	トレンチ 4 か所 (26m ²)	遺構・遺物なし	否	大庭

(2) 平成 30 年度 分布調査実績

計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
松江北道路建設予定地	松江市古曾志町外	平成 30 年 6 月 18 日～6 月 19 日	
一級河川江の川直轄河川改修事業予定地内	邑智郡川本町瀬尻・久料谷	平成 30 年 11 月 26 日	川本町教育委員会
一般国道 9 号(福光浅利道路) 改築事業予定地	大田市温泉津町福光外 江津市後地町外	平成 31 年 2 月 26 日～3 月 1 日	大田市教育委員会 江津市教育委員会

VIII 県内発掘調査一覧

市町村など（＊平成30年12月28日までに通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 届 出 書 ・ 通 知 書					調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	届 出 年月日	通 知 届 出 者	発 掘 担当者	発 掘 面積㎡	発掘予定 期 間	
1	集落跡	朝酌橋ノ谷遺跡	松江市朝酌町 972 番 3	29.11.28 ま文理第341号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	江川幸子	160.0	29.12.1 ～ 29.12.22	個人住宅
2	散布地	福富Ⅱ遺跡	松江市乃木福富町 137 外	29.12.6 ま文理第336号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	12	29.12.11 ～ 29.12.15	宅地造成
3	集落跡	大月遺跡	大田市仁摩町大國 25-3 ほか	29.7.20 大教社第1025-2号	大田市教育委員会教育長 大國晴雄	長嶺康典	140	29.11.1 ～ 30.3.31	その他の建物 (道の駅)
4	集落跡	京門原遺跡	大田市仁摩町大國 54 ほか	29.7.20 大教社第1025-1号	大田市教育委員会教育長 大國晴雄	長嶺康典	100	29.7.22 ～ 29.10.31	その他の建物 (道の駅)
5	集落跡	鳥井南遺跡	大田市鳥井町 1284	30.1.5 大教社第25号	大田市教育委員会教育長 大國晴雄	野島智実	30.0	30.1.9 ～ 30.1.30	その他開発(林 道開設)
6	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (奥谷町 193-1)	松江市奥谷町 193-1	30.2.2 ま文理第457号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	14	30.2.5 ～ 30.2.6	宅地造成
7	城館跡	浜田城跡	浜田市殿町 123 番地 10	30.2.21 教文第543号	浜田市教育委員会教育長 石本一夫	藤田大輔	6.5	30.2.26 ～ 30.3.30	その他開発(散 策道整備)
8	散布地	福富松ノ前遺跡	松江市福富町 211-3、 153-8、211-5、211-7	30.2.28 ま文理第495号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	92.0	30.3.5 ～ 30.3.20	その他開発(防 火水槽)
9	城下町遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町中座地内	30.2.20 津教委第2230号	津和野町教育委員会教育長 世良清美	伊藤悟郎 渡辺聡	22	30.3.1 ～ 30.3.31	保存目的の範囲 内容確認調査
10	散布地	神後田遺跡	松江市浜乃木 5 丁目 2807 外	30.3.12 ま文理第516号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	赤澤秀則	36	30.3.16 ～ 30.3.22	宅地造成
11	古墳	白岸古墳群	松江市黒田町字白岸 599 外	30.3.30 ま文理第564号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	小山泰夫	200	30.4.10 ～ 30.5.25	宅地造成
12	古墳	スクモ塚古墳	益田市久城町 542-13	30.4.6 益教文第3号	益田市教育委員会教育長 柳井秀雄	佐伯昌俊	12	30.4.24 ～ 30.4.28	保存目的の範囲 内容確認調査
13	城館跡	松江城	松江市殿町 1-5	30.4.17 ま文理第23号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	27.0	30.4.18 ～ 30.4.20	保存目的の範囲 内容確認調査
14	集落跡	小山遺跡	出雲市小山町 504-1、 504-2、504-4	30.4.10 文財第21号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	須賀照隆	18	30.4.18 ～ 30.4.18	店舗
15	集落跡	鏡田遺跡	松江市大庭町字鏡田 981-5	30.4.10 ま文理第13号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永 隆	100.0	30.4.12 ～ 30.4.27	宅地造成
16	集落跡	外屋敷遺跡	松江市大庭町外屋敷 800 番 14	30.4.13 ま文理第10号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	10	30.4.17 ～ 30.4.18	個人住宅
17	城館跡	松江城	松江市殿町 1-19、1-59	30.4.27 ま文理第49号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永 隆	100	30.5.7 ～ 31.3.31	遺跡整備
18	集落跡	小山遺跡	出雲市小山町 108、108-1	30.4.27 文財第71号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	須賀照隆	12.00	30.5.上旬 ～ 30.5.上旬	集合住宅
19	集落跡	鍛冶屋坂遺跡	松江市古志原 1 丁目 676- 1、676-3、676-21、676- 22	30.5.10 ま文理第62号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	49	30.5.21 ～ 30.5.29	宅地造成
20	集落跡	神後田遺跡	松江市浜乃木 5 丁目 2807 番地外	30.6.1 ま文理第90号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	36	30.6.4 ～ 30.6.12	宅地造成
21	集落跡	中世今市遺跡	益田市乙吉町 1	30.6.5 益教文第32号	益田市教育委員会教育長 柳井秀雄	佐伯昌俊	7	30.6.11 ～ 30.6.22	個人住宅
22	社寺跡	岩瀧寺跡	江津市波積町本郷 550-1 外 地先(至)	30.6.6 江教社第149号	江津市教育委員会教育長 小笠原隆	伊藤 創	2,500	30.6.11 ～ 30.12.28	ダム
23	集落跡	山辺遺跡	松江市西尾町字漆谷 881	30.7.3 ま文理第133号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	4.5	30.7.4 ～ 30.7.6	個人住宅
24	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (中原町 202)	松江市中原町 202	30.7.4 ま文理第134号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	4.5	30.7.9 ～ 30.7.13	宅地造成
25	散布地	川手 I 遺跡	雲南市吉田町川手 161-4	30.6.29 雲教文第84号	雲南市教育委員会教育長 景山明	高橋誠二	72	30.7.6 ～ 30.7.11	その他の建物 (宿泊施設)
26	横穴墓	神門横穴墓群	出雲市神西沖町地内	30.7.3 文財第244号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	石原 聡	1,021	30.7.23 ～ 31.1.18	河川

番号	対 象 遺 跡			発 掘 届 出 書 ・ 通 知 書					調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	届 出 年月日	通 知 届 出 者	発 掘 担当者	発 掘 面積㎡	発掘予定 期 間	
27	散布地 集落跡	来美東遺跡	松江市矢田町 509-2	30.7.23 ま文理第108号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	15	30.7.24 ～ 30.7.30	その他の開発 (畑地造成)
28	集落跡	朝酌矢田遺跡	松江市朝酌町字矢田 1084 番	30.7.23 ま文理第156号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	江川幸子	142.5	30.8.2 ～ 30.8.30	個人住宅
29	その他の遺 跡(城下町)	津和野藩校養老館	鹿足郡津和野町後田口 66	30.8.2 津教委第955号	津和野町教育委員会教育 長世羅清美	渡辺 聡	241	30.8.6 ～ 31.3.29	遺跡整備
30	散布地	烏ヶ崎遺跡	松江市玉湯町林 1205-1	30.7.26	京都大学白眉センター/ 人文科学研究所特定助教 上峯篤史		46	30.9.9 ～ 30.9.29	学術研究
31	散布地 生産遺跡	久見宮ノ尾遺跡	隠岐郡隠岐の島町久見宮ノ 尾	30.7.28	島根大学法文学部考古学 研究室准教授及川穰	及川 穰	8	30.9.10 ～ 30.9.18	学術研究
32	集落跡	天神遺跡	出雲市塩冶有原町 6 丁目 14-2	30.8.10 文財第301号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	景山真二	816.15	30.8.下旬 ～ 30.8.下旬	宅地造成
33	集落跡	光泉寺遺跡	松江市山代町字沖田 354-7	30.8.20 ま文理第181号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	9	30.8.21 ～ 30.8.22	個人住宅
34	その他の遺 跡(古代道 路跡)	三井Ⅱ遺跡・堀 切古墳群	出雲市斐川町直江 3749 他	30.8.30 文財第334号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	江角 健	100	30.10.1 ～ 31.3.31	保存目的の範囲 内容確認調査
35	散布地	朝酌菖蒲谷遺跡	松江市朝酌町 998 番 6 外	30.9.3 ま文理第227号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	江川幸子	183.9	30.9.18 ～ 30.11.22	道路
36	社寺跡	山代郷南新造院跡	松江市山代町字大畑 166 番 1	30.9.5 ま文理第233号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川上昭一	80	30.9.12 ～ 30.10.17	保存目的の範囲 内容確認調査
37	集落跡	堤ノ上遺跡	松江市東持田町 236 番外	30.9.6 ま文理第240号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	小山泰生	2,700	30.9.25 ～ 31.3.22	その他の建物 (福祉施設)
38	集落跡	孫四田遺跡	大田市久仁摩町大国 64-1 ほか	30.4.1 大教社第637号	大田市教育委員会教育長 船木三紀夫	長嶺康典	90	30.4.5 ～ 30.7.31	その他の建物 (道の駅)
39	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (雑賀町 4 丁目 580)	松江市雑賀町 4 丁目 580-3	30.9.19 ま文理第261号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	172.63	30.9.20 ～ 30.9.21	個人住宅
40	古墳	スクモ塚古墳	益田市久城長 542-13	30.10.2 益教文第72号	益田市教育委員会教育長 柳井秀雄	佐伯昌俊	12	30.10.15 ～ 30.11.16	道路
41	集落跡	白枝本郷遺跡	出雲市白枝町 861-1、 817-1、817-2	30.9.25 文財第402号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	景山真二	1,800	30.9.下旬 ～ 30.10.下旬	宅地造成
42	散布地	欠戸遺跡	雲南市木次町寺領 558-1	30.9.11 雲教文第142号	雲南市教育委員会教育長 景山明	坂本諭司	27	30.9.18 ～ 30.9.20	宅地造成
43	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (奥谷町 330-1 外)	松江市奥谷町 330 番 3	30.10.2 ま文理第266号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	60	30.10.8 ～ 30.10.16	宅地造成
44	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (石橋町 321 外)	松江市石橋町 321、321- 7、321-9	30.10.5 ま文理第246号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永 隆	1.32	30.10.16 ～ 30.10.16	宅地造成
45	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (雑賀町 4 丁目 580)	松江市雑賀町 580-5	30.10.15 ま文理第294号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永 隆	19.80	30.10.17 ～ 30.10.18	個人住宅
46	城下町遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町後田口 718	30.10.16 津教委第1358号	津和野町教育委員会教育 長世羅清美	山本遙	1.0	30.10.17 ～ 30.10.31	保存目的の範囲 内容確認調査
47	城下町遺跡	松江城下町遺跡	松江市陶本町 2 丁目 35、 29	30.10.23 ま文理第322号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永 隆	100	30.10.25 ～ 30.11.9	その他の建物 (ホテル)
48	散布地	後谷Ⅱ遺跡	出雲市斐川町出西 2384- 2、2390-1	30.10.22 文財 第457号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	須賀照孝	6	30.10.下旬 ～ 30.10.下旬	個人住宅
49	城下町遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町後田口 332	30.10.31 津教委第1437号	津和野町教育委員会教育 長世羅清美	山本 遙	3	30.11.6 ～ 30.11.20	保存目的の範囲 内容確認調査
50	散布地	ドロケ遺跡	松江市新庄町 806 外	30.11.12 ま文理第345号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	徳永桃代	400	30.11.21 ～ 31.3.25	農業基盤整備事 業
51	集落跡	池尻遺跡	雲南市加茂町三代 1661- 35	30.10.15 雲教文第203号	雲南市教育委員会教育長 景山明	高橋誠二	1,400	30.11.1 ～ 31.3.20	道路
52	古墳	行恒古墳	大田市久利町行恒 143	30.11.9 大教社第799号	大田市教育委員会教育長 船木三紀夫	野島智実	60	30.11.15 ～ 30.11.30	その他開発(急 傾斜地対策工事 に伴う道の付け 替え)
53	その他の遺 跡(住居)	石見銀山御料郷宿 泉屋遺宅金森家	大田市大森町	30.10.15 大教石第469号	大田市教育委員会教育長 船木三紀夫	中田健一	10	30.10.18 ～ 30.10.31	遺跡整備 個人住宅
54	集落跡	矢野遺跡	出雲市矢野町 740-10、 740-11、740-2	30.11.1 文財第522号	出雲市教育委員会教育長 横野信幸	景山真二	349.74	30.11.2 ～ 30.11.6	個人住宅
55	散布地	七村遺跡・田丸 遺跡	鹿足郡吉賀町真田地内	30.11.1 吉教委第1394-1 号	吉賀町教育委員会教育長 光長勉	三浦一美	43	30.11.1 ～ 30.12.31	農業基盤整備事 業(農道等を含 む)

Ⅷ 県内発掘調査一覧

番号	対 象 遺 跡			発 掘 届 出 書 ・ 通 知 書					調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	届 出 年月日	通 知 者 届 出 者	発 掘 担当者	発 掘 面積㎡	発掘予定 期 間	
56	集落跡	矢野遺跡	出雲市矢野町 883-3・884 の各一部、732、887	30.11.27 文財第558号	出雲市教育委員会教育長 榎野信幸	須賀照隆	18.0	30.12.上旬 ～ 30.12.上旬	集合住宅
57	古墳	南外古墳群	松江市東津田町南外 2296 番 5 外	30.11.30 ま文理第394号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	江川幸子	1,230	30.12.3 ～ 31.4.26	宅地造成
58	散布地 集落跡	新庄谷内遺跡	松江市新庄町 815 番 1	30.12.4 ま文理第399号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	10	30.12.7 ～ 30.12.12	農業基盤整備事業 (農道等を含む)
59	社寺跡	出雲国分寺跡	松江市竹矢町字寺領 103 番 2	30.12.11 ま文理第420号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	三宅和子	9	30.12.13 ～ 30.12.21	個人住宅
60	集落跡	里方八石原遺跡	出雲市里方町八石原 45-3 番地	30.12.4 文財第578号	出雲市教育委員会教育長 榎野信幸	景山真二	394.01	30.12.10 ～ 30.12.13	個人住宅
61	散布地	新庄寺ノ前遺跡	松江市新庄町 536 番地 1	30.12.18 ま文理第434号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	10.0	30.12.19 ～ 30.12.21	農業基盤整備事業 (農道等を含む)
62	散布地	角田遺跡	出雲市上塩冶町 2681 番 1、 2682 番、2683 番	30.12.17 文財第600号	出雲市教育委員会教育長 榎野信幸	景山真二	1528.33	30.12.19 ～ 30.12.22	宅地造成
63	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (北堀町 91-4 外)	松江市北堀町 91-4、91-5	30.12.10 ま文理第432号	松江市教育委員会教育長 清水伸夫	川西 学	200	30.12.10 ～ 30.12.14	個人住宅

県（*平成 30 年 12 月 28 日までに通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 届 出 書 ・ 通 知 書					調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	届 出 年月日	通 知 者 届 出 者	発 掘 担当者	発 掘 面積㎡	発掘予定 期 間	
1	散布地 集落跡	平ノ前遺跡	大田市静間町 375-1 外	29.9.15 島教理第276号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	大庭俊次	520	29.10.25 ～ 29.12.28	道路
2	横穴墓	桜田遺跡	大田市鳥井町鳥井字桜田	29.12.1 島教理第441号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	大庭俊次	871	29.12.13 ～ 30.2.14	道路
3	横穴墓	諸友大師山横穴 IV群 1 号穴	大田市久手町大字刺鹿字諸 友	29.12.18 島教理第456号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	仁木 聡	144	29.12.18 ～ 29.12.28	道路
4	城館跡	普源田砦跡	浜田市三隅町岡見 5413-1 外	30.4.10 島教理第19号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	東森 晋	6,900	30.5.7 ～ 30.12.28	道路
5	集落跡	垂水遺跡	大田市静間町野伏 752-6	30.4.17 島教理第39号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	中川 寧	140	30.5.10 ～ 30.7.31	道路
6	集落跡	藏廻り遺跡	益田市西平原町 562-2 他	30.4.25 島教理第69号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	久保田一郎	1,500	30.5.10 ～ 30.9.30	道路
7	散布地	森原神田川遺跡	江津市松川町八神 241 外	30.5.7 島教理第15号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	宮本正保	3,000	30.5.8 ～ 30.10.31	河川
8	散布地	シコノ谷遺跡	松江市朝酌町 1134-17 外	30.5.7 島教理第88号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	廣江耕史	1,700	30.5.14 ～ 30.12.21	河川
9	生産遺跡	市山村鋳物師跡	江津市桜江町市山 338	30.5.23 島教文財第242号	島根県教育庁文化財課	東山信治	28	30.7.23 ～ 30.9.28	保存目的の範囲 内容確認調査
10	集落跡	中上II遺跡	出雲市東神西町 435 外	30.6.4 島教理第133号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	深田 浩	1,900	30.7.2 ～ 30.12.28	道路 その他の開発 (調整池)
11	生産遺跡	桜田遺跡	大田市鳥井町鳥井字桜田 1771	30.6.1 島教理第152号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	深田 浩	30	30.6.20 ～ 30.6.29	道路
12	生産遺跡	桜田遺跡	大田市鳥井町鳥井字桜田	30.7.2 島教理第167号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	守岡正司	300	30.7.3 ～ 30.8.31	道路
13	集落跡	京田遺跡	出雲市湖陵町常楽寺 500-2 外	30.8.17 島教理第216号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	園山 薫	170	30.9.1 ～ 30.12.28	道路
14	集落跡	御領田遺跡	出雲市湖陵町常楽寺 181-6	30.9.26 島教理第267号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	園山 薫	30	30.10.15 ～ 30.10.31	道路
15	集落跡	森原上ノ原遺跡	江津市松川町八神 248 外	30.11.12 島教理第305号	島根県教育庁埋蔵文化財 調査センター所長	今福拓哉	40	30.11.15 ～ 30.11.30	河川

IX 刊行物

1. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名称	発刊月	部数	内容
ドキ土器まいぶんNo.64	平成31年3月	10,000	平成30年度に実施した発掘調査、平成の主な調査など

2. 発掘調査報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
常楽寺柿木田古墳群—弥生時代集落の調査— 一般国道9号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書5	276	宮本正保	常楽寺柿木田古墳群では、弥生時代後期の竪穴建物2棟と、溝状遺構2を確認した。神西湖南西部において弥生時代の遺構を検出した貴重な例となり、この地域で丘陵上における竪穴建物の確認は初めてである。竪穴建物は小規模で、主柱穴が2と3のものである。立地や集落構成などから、高地性集落の性格を持つ可能性がある。
久村鋳山跡 一般国道9号（湖陵多伎道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	279	仁木 聡	久村鋳山は、株式会社日立金属安来工場が、陸・海軍の軍需鋼材の増産要求に対応すべく、1939（昭和14）年に開発を始めた砂鉄鋳山である。敗戦と同時に事業を停止し、1949（昭和24）年、GHQによる過度経済力集中排除法により閉山された。 発掘調査によって、原鋳を砕くために使用された選鋳場の一部と、選鋳場の稼動に必要な貯水槽をはじめとし、受電所の基礎などを明らかにすることができた。出土遺物としては、碍子等の送電関係の資料が出土しているほか、選鋳場に供給された原鋳（固結砂鉄）も僅かながら出土している。また、固結砂鉄という特殊な鉄鋳石の選鋳場としては、全国で初の発掘調査例となるもので、「久村鋳山」の沿革や稼動当時の様子が記された資料との比較研究が可能となり、選鋳に関する具体的な工程を知るための貴重な手がかりを得ることができた。
静間城跡 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	277	今岡一三	静間城跡は、標高27mの丘陵上に築かれた山城である。主郭と北郭の2か所の郭で構成され、堀立柱建物や礎石建物が多数検出されている。堀立柱建物には両面または片面に庇を伴う大型の建物が存在していることから、丘陵上に築かれた居館的な居住空間を兼ね備えた山城と言える。遺物には国産陶磁器の他に青磁や白磁などの貿易陶磁も多量に出土しており、遺物の年代観から15世紀後葉～16世紀前葉頃の山城と考えられる。また、主郭東側と北郭では中世遺構面の下層から古墳時代の竪穴建物と加工段が検出されている。 上記のことから、古墳時代から中世までこの丘陵が集落等として利用されてきたことが判明した。
平ノ前遺跡 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2	283	伊藤 智	平ノ前遺跡は、静間川の左岸の段丘状に位置し、3つの時期の遺構を検出した。弥生時代には、前期末から中期初めにかけての水路と中期末から後期前半にかけての水路の2条の水路が重複する状況で検出された。水路には矢板や杭列などを利用して水利施設が備え付けられていた。また水路は取水口を静間川が流れている南側にもち、北へ流れる灌漑用水路であったと考えられる。 古墳時代には、中期末から後期にかけての南北方向の水路が確認された。土師器、須恵器などとともに金銅製歩揺付空玉、玉製品、獣骨などの遺物が出土し、水辺での祭祀が行われていたと考えられる。また出土した遺物の多様性から、当地と他地域との交流がうかがい知れた。水路が埋まった後の終末期以降には、鍛造鍛冶が行われ、最終的には整地されて当地の豪族居館と考えられる大形堀立柱建物が建てられている。 奈良時代以降の詳細な状況は不明であるが、奈良時代以降の須恵器や、中世の貿易陶磁を含む陶磁器などが出土し、引き続き土地利用があったことがうかがえた。

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
御堂谷遺跡・諸友大師山横穴Ⅳ群 1号穴 一般国道9号(大田静岡道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 3	288	仁木 聡	御堂谷遺跡は、弥生時代前期後半から奈良・平安時代にかけての遺構・遺物が断続的に検出されている。弥生前期後半の明確な遺構は確認されていないが、標高約 53 m の谷状地形に堆積した包含層から、多数の弥生土器が出土している。その後、弥生時代中期末～後期前半にかけて、1～2 世帯程度の単位集団の集落が営まれ、古墳時代中期前葉には竪穴建物や加工段が形成される。また、8 世紀後半を中心とする奈良・平安時代には、灯明皿形土器等の仏教関連遺物が多数出土し、門の可能性もある掘立柱建物などの遺構が検出されている。これらは、石見における古代史像の解明に寄与する貴重な資料群である。
大國地頭所遺跡 一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 7	278	守岡正司	大國地頭所遺跡は、大きく3 時期に区分され、中世、古墳時代後期から平安時代、弥生時代後期から古墳時代前期の各遺構遺物が検出され、約 1800 年前からの人々の生活を確認できた。弥生時代後期から古墳時代前期では多くの土器が出土し、外周溝を伴う平地住居と考えられる遺構も確認され、溝に斬り合いが認められることから継続した集落が営まれていた事が判明した。中世では大型の柱穴や柱根、区画溝を伴う建物群が確認され、有力者の館跡と考えられる。また、隣接地には石見城跡があり、仁万平野の中世景観復元に資するところが大きい。
垂水遺跡・松林寺遺跡・庵寺石塔群 一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 8	285	中川 寧	垂水遺跡は大田市静岡町の谷部に位置する。黒色土やその下位の砂質の土から奈良時代から平安時代の土器が出土した。また、遺跡は砂丘の砂に覆われていた。遺構として掘立柱建物、炭溜まり、焼土や集石遺構を確認した。遺物の組成は集落遺跡と同じ。 松林寺遺跡は大田市仁摩町の丘陵斜面に位置する。弥生時代後期から古墳時代前期の掘立柱建物、加工段や土坑、土器埋設遺構などを確認した。集落域の中の作業場と考えられる。斜面下方に位置する大國地頭所遺跡と一体の遺跡と考えられる。北部九州系など外来系土器が出土した。 庵寺石塔群は 17 世紀後半～ 18 世紀前半の銘を持つ石造物のある岩窟の下の平坦面に位置する。石列を確認した。出土遺物には灯籠や瓦があったことから、石列は堂や灯籠を保護していた可能性があり、岩窟より新しい 18 世紀中ごろから 19 世紀にかけて築造・機能したと考えられる
田淵遺跡 一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 1	278	増田浩太	田淵遺跡は、江の川とその支流である奥谷川に挟まれた段丘上の遺跡である。両河川の度重なる氾濫により非常に厚い堆積層が存在し、近世以降は主として畑作地として利用されていたと考えられる。表土下約 2～3 m では、主に 12 世紀から 13 世紀にかけての遺構や遺物が出土している。遺構は、柵列もしくは塀を構成すると推定される柱穴列や、土師器を一括廃棄したと考えられる土器溜まりが発見された。出土遺物には、これらの遺構に伴う土師器坏皿、中国製陶磁器、国産の陶磁器がある。また小型の鉄製品を製作したと考えられる小鍛冶炉が 3ヶ所確認され、周囲からは羽口片や滓などの関連遺物も出土した。滓には流動滓などの製鉄・精錬関連遺物も見られた。
高浜 I 遺跡(3 区) 一般県道矢尾今市線地方道路交付金事業(大塚工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4	274	間野大丞	高浜 I 遺跡のこれまでの調査では、1 区で 15 世紀から 16 世紀の館跡を検出し、日本最古の将棋盤などが出土している。2 区では 14 世紀中頃から 17 世紀初頭の堀と土塁をもつ館跡を検出している。 今回調査した 3 区(1 区と 2 区の間)は、自然河道に面した微高地の縁辺にあたる。15～16 世紀に埋没した自然河道の東に集落が広がっていた。集落は 14 世紀から展開し、17 世紀頃に盛期を迎えたと推定される。 3 区にわたる調査により、中世の屋敷地と周辺の景観が明らかとなっただけでなく、出雲平野における土地利用の変遷を知る貴重な成果も得ることができた。
風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書 25 出雲国府跡 10	290	是田 敦	2015～2017 年度に国庁周辺を発掘調査し、国庁正殿が掘立柱建物から礎石建物へ建て替えられたことを確認したほか、正殿より古い建物跡や正殿と同時期の建物跡を検出し、国庁正殿があった当時の周辺の状況とその前後の状況を詳しく検討する資料を得ることができた。また、国庁の北側では池状の施設を検出し、国庁周辺の土地利用の状況や変遷を検討する上で貴重な資料を得ることができた。

3. パンフレット

名 称	部 数	概 要
静間城跡	4,000	大田市静間町に所在する15～16世紀の山城跡の発掘調査成果をわかりやすく紹介したパンフレット。A4 カラー 8P。

4. 発掘調査だより（発掘調査事務所発行）

名 称	現場名	発行月	部 数	概 要
発掘調査通信	出雲湖陵道路	8・2月	225	地元小中学校、公民館、教育委員会などに配布
石見路の言伝	三隅益田道路	5・7・10・1月	246	地元小中学校、公民館、教育委員会などに配布
中国太郎の発掘日記	江の川改修	6・10・12月	180	地元小中学校、自治会、教育委員会などに配布
意字の杜	出雲国府跡	5月	874	地元小中学校、公民館、教育委員会などに配布
あさくみの促戸	大橋川改修	6・10月	300	地元小中学校、公民館、教育委員会などに配布

5. その他

名 称	現場名	号 数	概 要
中上Ⅱ遺跡発掘調査情報	出雲湖陵道路	1～6号	調査の最新情報を壁新聞形式で発掘現場のフェンスに掲示

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 27
—平成 30 年度—

発行	2019 年 3 月
編集	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 〒 690-0131 松江市打出町 33 番地 TEL 0852-36-8608 E-mail ; maibun@pref.shimane.lg.jp http://www.pref.shimane.lg.jp/maizoubunkazai/